I·O DATA

i·CONNECT対応 640Mバイト MOドライブ

MOA-i640S/US2

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

90543-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i-CONNECTおよびi-CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMac,iBookは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- RINGOWINは富士通株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

● 呼び方

呼び方	意　味
本製品	MOA-i640S/US2,または「MOA-i640SとUSB 2.0コンバータケーブルを接続したもの」
MO	MOドライブ
USB (1.1)ポート	USB (1.1)に対応したUSBポート
USB 2.0ポート	USB 2.0に対応したUSBポート
USBポート	USB (1.1)ポート,USB 2.0ポートの総称
USB (1.1)機器	USB (1.1)に対応したUSB機器
USB 2.0機器	USB 2.0に対応したUSB機器
USB機器	USB (1.1)機器,USB 2.0機器の総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows Me/98	Windows Me,Windows 98の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows	Windows Me/98,Windows 2000の総称

● マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

お読みになる前に..... i
もくじ..... ii

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

箱の中には..... 2
動作環境..... 4
取り扱う・使う上での注意..... 5
各部の名称・機能..... 8
添付品を取り付けよう..... １０
お使いのOSは？..... １３

Windows 2000でお使いの場合・・・・・・・・・１５

使えるようにしよう..... １６
基本操作について..... ２７
ユーティリティについて..... ３３

Windows Me/98でお使いの場合・・・・・・・・・３７

使えるようにしよう..... ３８
基本操作について..... ４８

Mac OSでお使いの場合・・・・・・・・・・・・・５５

iMacをお使いの方へ..... ５６
使えるようにしよう..... ５８
基本操作について..... ６３

付録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７

困った時には ６８
サポートソフトの削除 ８５
RINGOWIN LEについて ９２
Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう ９３
用語解説 ９５
ハードウェア仕様 ９６

ユーザー登録について 97
サポートセンターへのお問い合わせ 98
サポートソフトのバージョンアップ 99
修理について 100

Memo

はじめに

箱の中には
箱の中のものを確認します。(2ページ)

▼

動作環境
本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。(4ページ)

▼

取り扱う・使う上での注意
本製品を使うにあたって、注意しなければならないことを説明します。(5ページ)

▼

各部の名称・機能
スイッチなどの名前と機能を説明します。(8ページ)

▼

添付品を取り付けよう
添付品を取り付ける方法を説明します。(10ページ)

▼

お使いのOSは？
お使いのOSに合ったページを案内します。(13ページ)

箱の中には

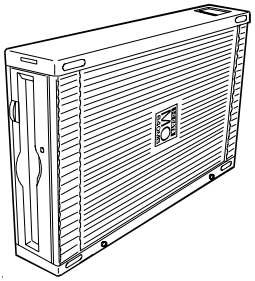
箱の中には以下のものが入っています。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

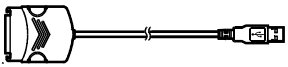
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

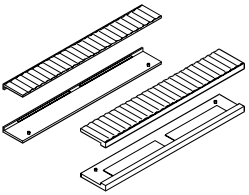
箱・梱包材は
　大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
イラストについて
　実物と若干異なる場合があります。



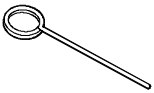
□ MO（１個）［MOA-i640S］



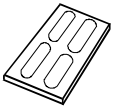
□ USB 2.0コンバータケーブル
（１本）［約1m］



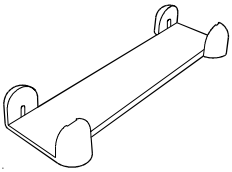
□ カラーサイドパーツ（４個×５色）



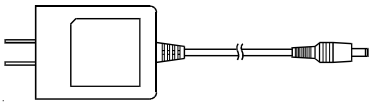
□ 強制イジェクト・ピン（１本）



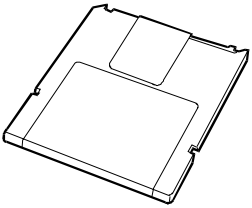
□ ラバーフット（４個）［横置き用］



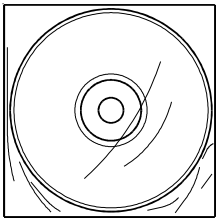
□ スタンド（１個）［縦置き用］



□ ACアダプタ（１個）



□ MOディスク（１枚）
［640Mバイト：未フォーマット］



☐ MOA/US2シリーズサポートソフト
（１枚）
[ハイブリッド(Windows/Mac OS)CD-ROM]
・USB 2.0CCサポートソフト
・MOシリーズサポートソフト
・Windows 2000用ユーティリティ
・RINGOWIN LE

☑ MOA-i640S/US2取扱説明書(本書：１冊)
☐ 「安全で快適にお使いいただくために」（１冊）
☐ ハードウェアシリアルNo.シール（１枚）
☐ ハードウェア保証書（１枚）
☐ ユーザー登録カード（１枚）

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

●対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと
- ・本製品を接続できるUSBポートがあること。
  ※USB 2.0環境での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイス製品との組み合わせでのみご利用いただけます。（2001年5月末現在）
  ※従来のUSB（1.1）ポートを搭載した機種や弊社製USBインターフェイスボード「USB-PCI」を装着した機種でもご利用いただけます。
  ただし、本製品はUSB（1.1）機器として動作します。
- ・インストール時にCD-ROMドライブがあること。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
NEC製 PC98-NXシリーズ DOS/Vマシン※1※2※3	Windows 2000※5, Windows Me, Windows 98(Second Editionを含む)
Apple製 iMac※4 iBook PowerMac G4 Cube PowerMac G4 PowerMacintosh G3 (Blue & White) PowerBook G4 PowerBook G3 (Bronze keyboard)	Mac OS 8.6※5, 9※5, 9.0.4※5, 9.1※5

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2　次の機種(2001年5月末現在)では、本製品をUSB（1.1）環境で使えません。
東芝製 DynaBook SS PORTEGE6000、DynaBook Satellite2520シリーズ
SOTEC製 e-note M260TX2/TX3

※3　本製品をUSB（1.1）環境でお使いの場合、COMPAQ製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590では、パソコンのBIOSアップデートが必要です。
詳しくは、コンパック プレサリオ サポートセンターにお問い合わせください。

※4　iMac DVを含む。

※5　USB（1.1）のみ対応となります。

参考

Windows 2000のUSB 2.0対応について
今後対応予定です。
最新情報は，弊社ホームページまたはカタログをご覧ください。

取り扱う・使う上での注意

添付の『安全で快適にお使いいただくために』と、MOA/US2シリーズサポートソフト内の「README.TXT」や「はじめにお読みください」も併せてご覧ください。

●取り扱う上での注意

・本製品の取り扱いについて

- 濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。
- 本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、本製品内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。時間をおいて、結露がなくなってから使ってください。
- 本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
- コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
- 空気中に浮遊するゴミ・チリ、およびタバコの煙などにより、データの読み書きができなくなるおそれがあります。
  なお、タバコの煙がレンズなどに付きますと、クリーニングキットでは取れない汚れとなる場合があります。本製品の周囲での喫煙はお控えください。
  日常のお手入れとしては、下記のクリーニングキットをお使いの上、定期的なクリーニングをお願いいたします。

※ 推奨クリーニングキット

富士通コワーコ（株）　「Head CLEANER No.0240470」

連絡先：〒160-0023　東京都 新宿区西新宿 6-24-1
西新宿三井ビルディング

TEL：03-3342-5460／FAX：03-3342-5446

http://www.coworco.fujitsu.com/



上記クリーニングキットをお使いください

弊社では、上記クリーニングキットでのみ動作保証を行っております。
これ以外の市販品では動作の保証は行っておらず、弊社製品に対しお使いになりますと、本製品内部の損傷原因となる場合があります。ご注意ください。



本製品の取り扱いについて

富士通（株）様の下記ホームページも併せてご覧ください。

http://mo.fujitsu.com/support/maintain/

- 本製品内部は書き込み時、かなり高温になります。そのため、長時間にわたってMOディスクのフォーマットや書き込み作業を行うと、本製品の安全装置が働き、処理が中断されてしまう場合があります。
  このような場合は、OSを終了してパソコンの電源を切り、本製品が冷えるまでしばらくお待ちください。
  その後で、中断された処理を再度行ってください。
- 本製品についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使ってください。ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わないでください。

・ MOディスクの取り扱いについて

- MOディスクのシャッターを開けて、内部に直接ふれないでください。
- MOディスクのシャッター部に、ラベルをはらないでください。
- ラベルを2重3重に重ねて、はらないでください。

●使う上での注意

・MOディスクの読み書き中は省電力モードにしないでください

MOディスクの読み書き中は、スタンバイ/休止/スリープなどの省電力モードにしないでください。

・他のUSB機器を使う時

- 他のUSB機器を動作させると、本製品の転送速度が遅くなる場合があります。
- 本製品をUSBハブに接続し、正常に動作しない場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。
- 本製品とパソコンのUSB 2.0ポートの間にUSBハブがある場合は、本製品はUSB (1.1)機器として動作します。

・動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良の原因となることがあります。

・640MバイトのMOディスクについて

圧縮ドライブとしては使えません。

・「ディスクコピー」は、MOディスクに対応していません。

エラーメッセージが表示されたり、システムが応答しなくなりますので、絶対にMOディスクに対して実行しないでください。

・MOディスクの取り出し時

- MOディスクの読み書き中は絶対に取り出さないでください。
  記録されたファイルの読み書きができなくなったり、MOディスクが傷つき、使えなくなる場合があります。

・定期的にバックアップしてください。

記録されたデータやプログラムファイルは、誤動作や故障等によってファイルが破壊された場合、復旧することができません。

●本製品の修理について

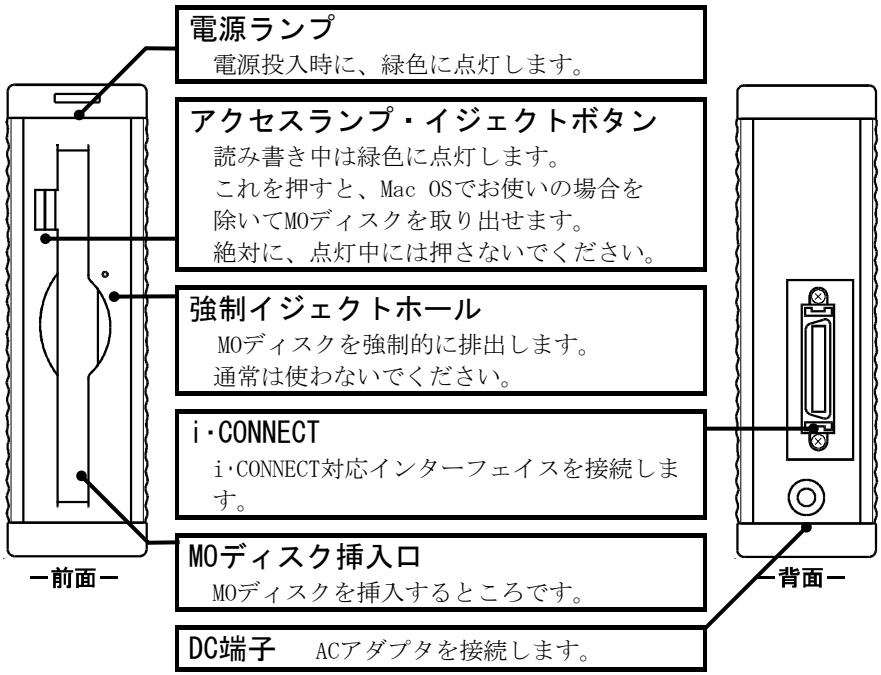
本製品の修理については、【修理について】(100ページ)をご覧ください。

各部の名称・機能

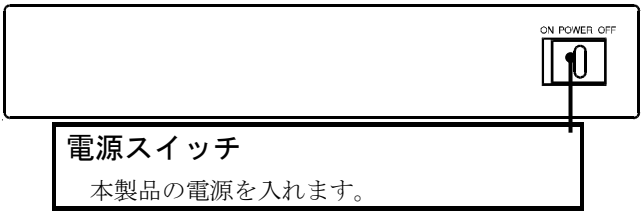
各部の名称および機能の確認を行います。

●MO(MOA-i640S)

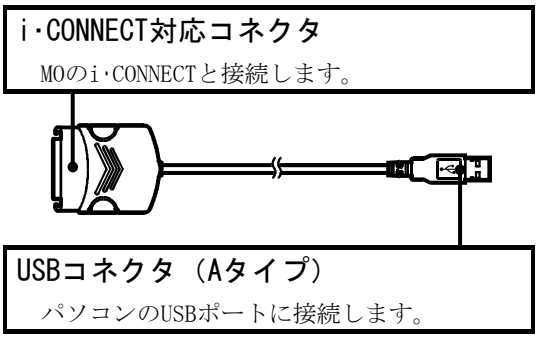
・前背面



・上面（横置きで使う時は側面）



●USB 2.0コンバータケーブル



参考

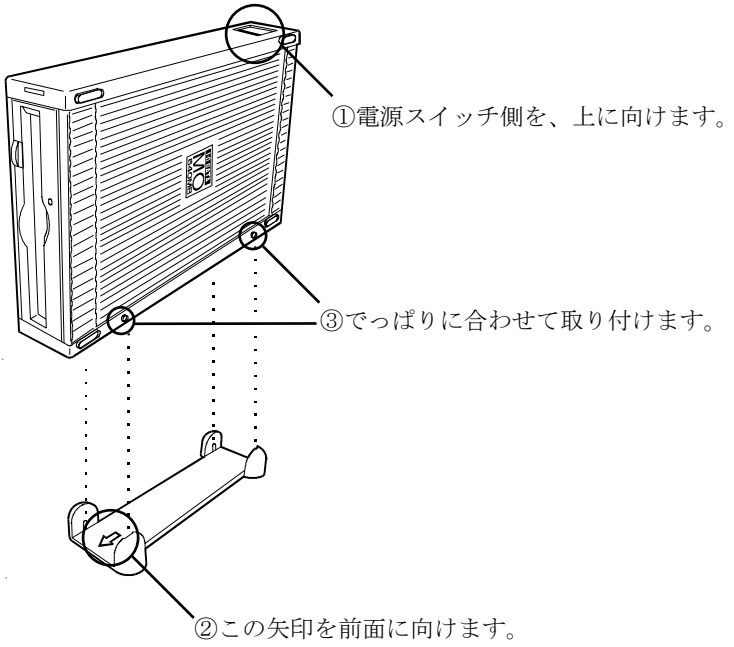
「USB 2.0コンバータケーブル」は本製品専用です

「USB 2.0コンバータケーブル」は、本製品のMOでのみお使いいただけます。
「USB 2.0コンバータケーブル」を他のi･CONNECT搭載ドライブと使うことは保証いたしかねます。

添付品を取り付けよう

添付品の取り付けについて説明します。

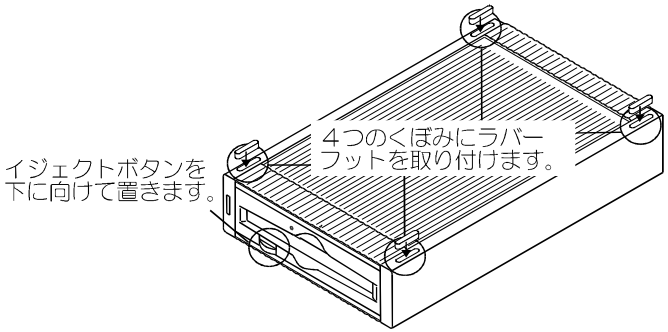
●スタンドを取り付ける（縦置きで使う）



●ラバーフットを取り付ける（横置きで重ねないで使う）

本製品を安定した場所にイジェクトボタンを下に向けて置き、４個所にラバーフットを取り付けます。取り付けた後は、ラバーフットを下にして置いてください。

※本製品を他のMOAシリーズやHDA-iシリーズの上に重ねて使う場合は、ラバーフットは取り付けないでください。

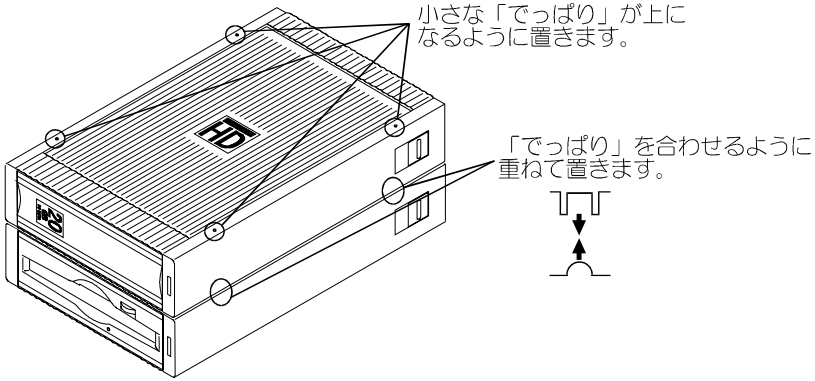


●横置きで重ねて使う

MOAシリーズやHDA-iシリーズと重ねて置けます。（本製品を含めて２台まで）

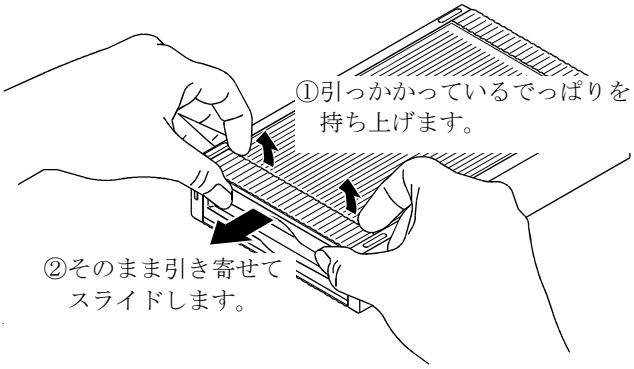
下に置くものには上記をご覧になり、ラバーフットを取り付けてください。

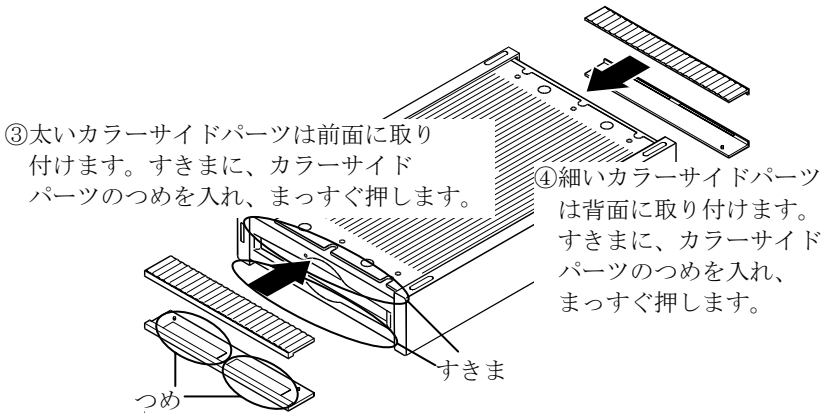
上に重ねるものは、そのまま図のように置いてください。



●他のカラーサイドパーツに交換する

本製品には、コーディネートをお楽しみいただくために６色のカラーサイドパーツが添付されています。
お使いのパソコンの色に合わせて、下のように取り替えてみてはいかがでしょうか。





お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合った取扱説明書の章を案内しています。

お使いのOSに合ったページをご覧ください。

・Windows 2000

【Windows 2000でお使いの場合】 １５

・Windows Me/98

【Windows Me/98でお使いの場合】 ３７

・Mac OS

【Mac OSでお使いの場合】 ５５

Memo

Windows 2000でお使いの場合

使えるようにしよう

はじめて本製品をUSBポートに接続する際の手順について説明します。(16ページ)

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。(27ページ)

ユーティリティについて

本製品のユーティリティについて説明します。(33ページ)

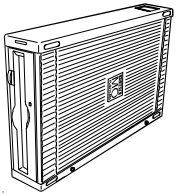
使えるようにしよう

はじめて本製品をUSBポートに接続する際の手順について説明します。

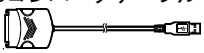
参考

用意するもの

・MO（MOA-i640S）



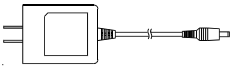
・USB 2.0コンバータケーブル



・MOA/US2シリーズサポートソフト



・添付のACアダプタ



●USB 2.0コンバータケーブルを使えるようにする

USB 2.0コンバータケーブルを使えるようにします。

注意

まだUSB 2.0コンバータケーブルを接続しないでください

USB 2.0コンバータケーブルは本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（18ページの手順8以降で接続します。）

1 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

3 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「MOA/US2シリーズサポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

4 ［DDSETUP］アイコンをダブルクリックします。

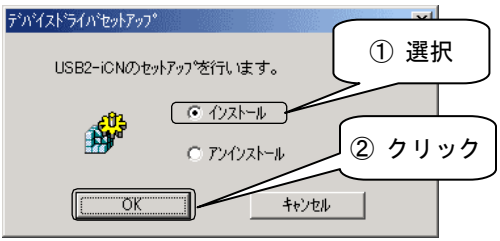
［マイコンピュータ］→［MOAUS2_xxx］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。



5 ［インストール］を選択します。

［インストール］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



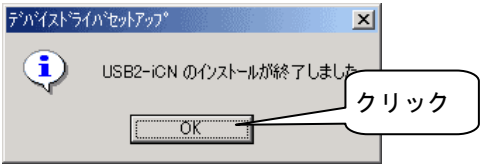
注意

このような画面が表示されたときは

【USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除する途中でエラー画面が表示される】(72ページ)をご覧ください。



6 [OK] ボタンをクリックします。



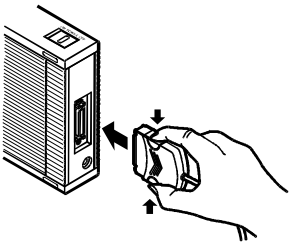
7 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

●接続する

USBポートへの接続について説明します。

8 USB 2.0コンバータケーブルをMOに接続します。

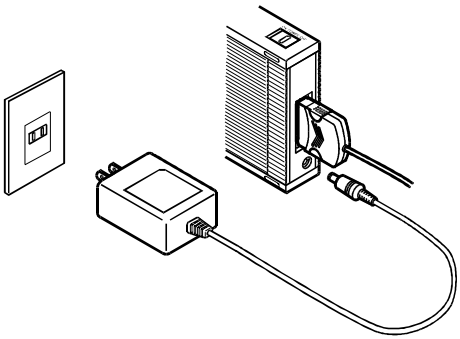
i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。



9 本製品を電源コンセントに接続します。

①MOに、添付のACアダプタを接続します。

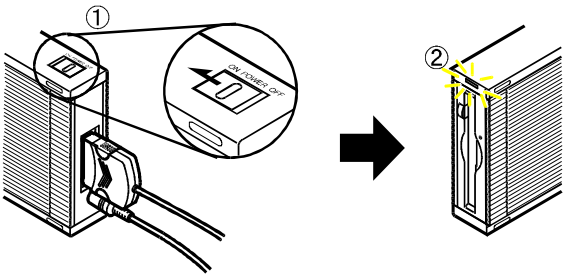
②ACアダプタを電源コンセントに接続します。



10 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に動かします。

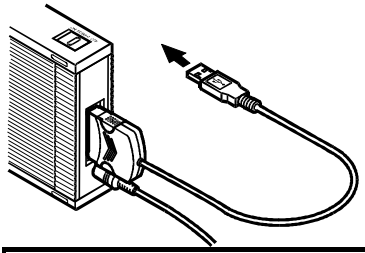
②電源ランプが点灯するのを確認します。



11 本製品をUSBポートに接続します。

USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



参考

はじめて本製品を接続した場合は

「新しいハードウェア」などの画面が表示され、しばらくすると消えます。

注意

［新しいハードウェア］画面が表示されたまま消えない

［キャンセル］ボタンをクリックし、USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから取り外します。

その後、再び手順1(16ページ)から作業を行ってください。

●確認する

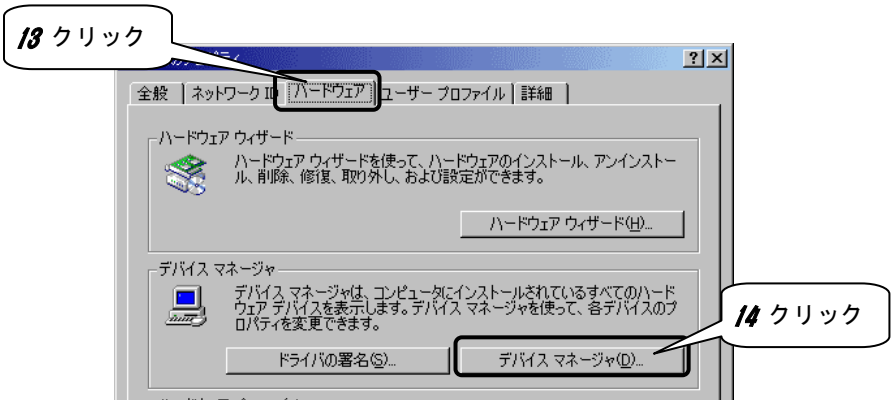
ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

12 「システムのプロパティ」を開きます。

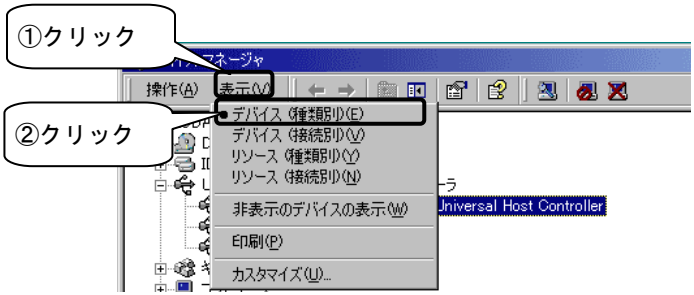
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

13 ［ハードウェア］タブをクリックします。

14 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

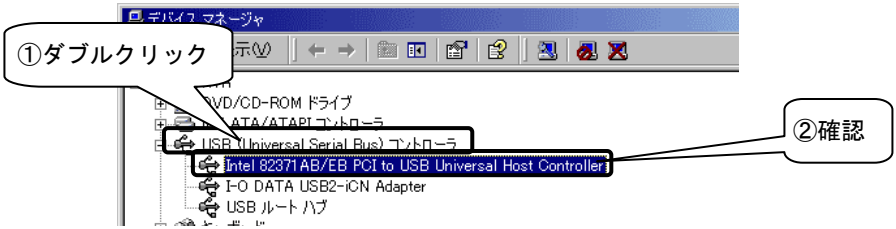


15 ［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。



16 USBコントローラの名前を確認します。

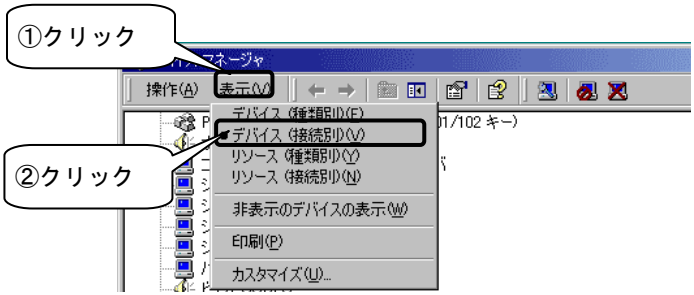
①［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］をダブルクリックします。
②その下にあるUSBコントローラの名前を確認します。



参考
USBコントローラの名前は･･･
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

注意
USBコントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

17 ［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。



18 USBコントローラの名前を探します。

手順16で確認したUSBコントローラを探します。

参考
USBコントローラの位置は･･･
通常、USBコントローラは［PCIバス］の下にあります。
［PCIバス］は、［ACPI(Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

19 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。



注意

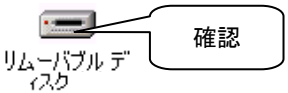
[USBルートハブ] に [!] が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。
[I-O DATA USB2-iCN Adapter] に [!] が付いている
【サポートソフトの削除】(85ページ)の手順を行った後、もう一度【使えるようにしよう】(16ページ)の手順を行ってください。
[I-O DATA USB2-iCN Adapter] の下に何もない
【接続する】(18ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

20 [マイコンピュータ] を開きます。

[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックします。

21 [リムーバブルディスク] アイコンを確認します。

これが本製品のアイコンです。



注意

[リムーバブルディスク] アイコンがない
【本製品のアイコンが表示されない】(69ページ)をご覧ください。

参考

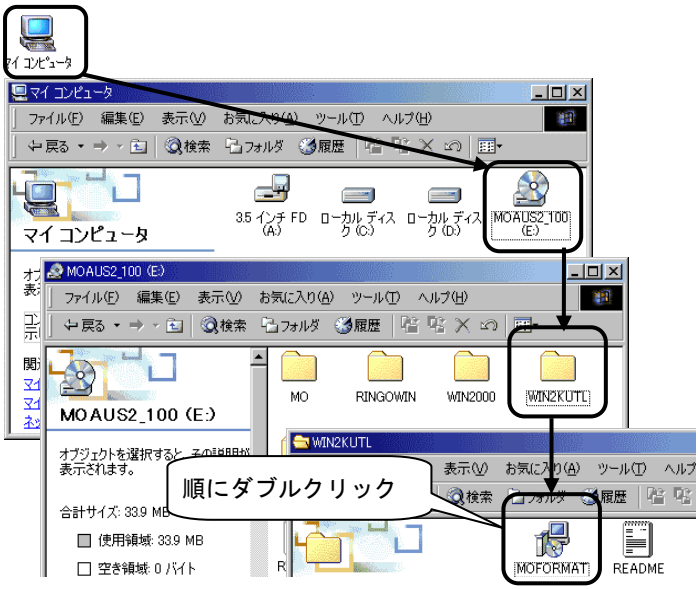
複数の [リムーバブルディスク] アイコンがある場合
Windowsでフォーマットされた MO ディスクを本製品のみに挿入します。
[リムーバブルディスク] アイコンを順番に開いていき、その MO ディスクの内容が表示されるアイコンが本製品のアイコンです。

●MOを使えるようにする

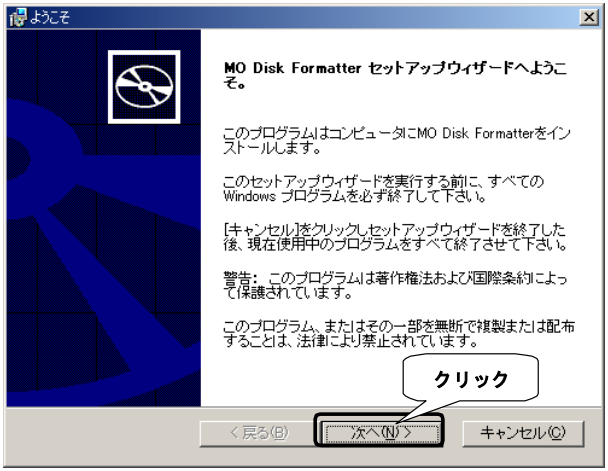
MOを使えるようにします。

22 「MOFORMAT」を実行します。

［マイコンピュータ］→［MOAUS2_xxx］→［WIN2KUTL］→［MOFORMAT］の順にダブルクリックします。



23 ［次へ］ボタンをクリックします。



24 ［次へ］ボタンをクリックします。

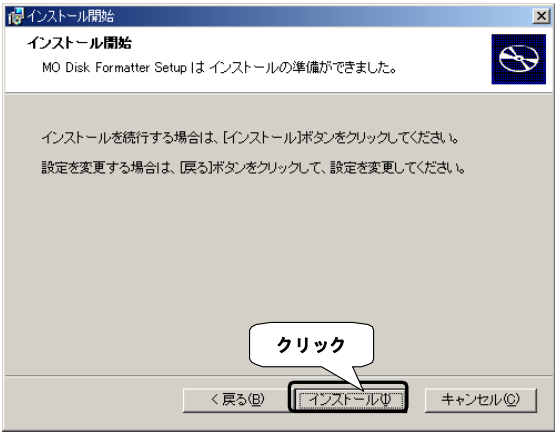


参考

インストール先のフォルダを替えたい場合
［参照］ボタンをクリックして変更してください。
通常は変更する必要はありません。

25 ［インストール］ボタンをクリックします。

⇒README.TXTが開かれますので、お読みください。

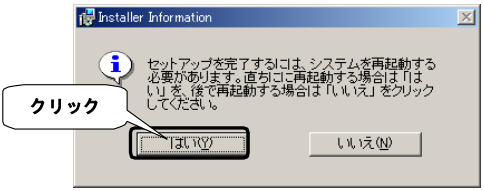


26 ［完了］ボタンをクリックします。



27 再起動を行います。

「MOA/US2シリーズサポートソフト」を抜き、［はい］ボタンをクリックします。



以上で、本製品は使えるようになりました。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

●本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

●本製品を取り外す

パソコンの電源を切って取り外す場合

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【MOディスクを取り出す】(32ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品をUSBポートから取り外します。

4 本製品の電源を切ります。

パソコンの電源を切らずに取り外す場合①

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【MOディスクを取り出す】(32ページ)をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



3 表示された［I-O DATA USB2-iCN‥‥］をクリックします。



注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
使っているソフトウェアを全て終了し、もう一度手順 **1** から行ってください。
それでもメッセージが表示される場合は、前のページにある【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。



5 本製品をUSBポートから取り外します。

6 本製品の電源を切ります。

パソコンの電源を切らずに取り外す場合②

1 本製品からMOディスクを取り出します。

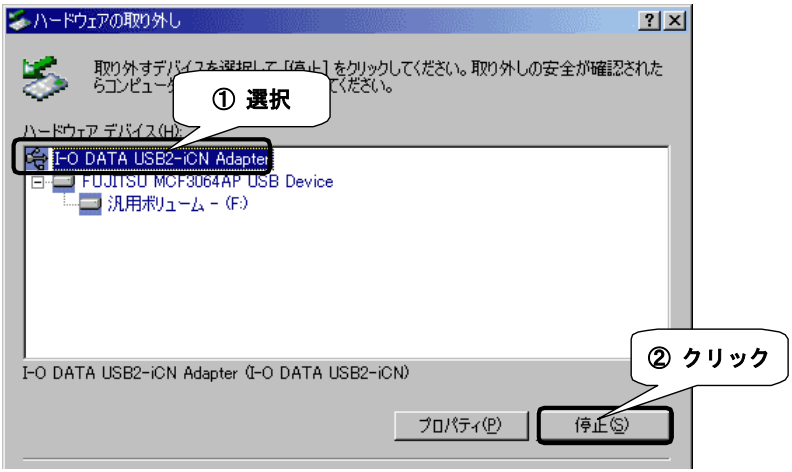
方法については【MOディスクを取り出す】(32ページ)をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをダブルクリックします。

「ハードウェアの取り外し」が開きます。

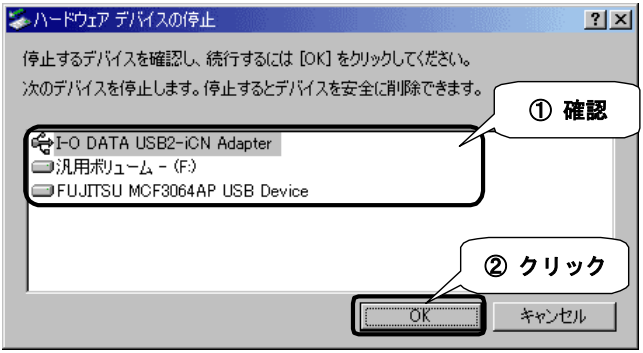


3 ［I-O DATA USB2-iCN Adapter］を選択し、［停止］ボタンをクリックします。



4 ［I-O DATA USB2-iCN Adapter］を確認して、［OK］ボタンをクリックします。

［I-O DATA USB2-iCN Adapter］と、MOが表示されていることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。



注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
使っているソフトウェアを全て終了し、もう一度手順 **4** から行ってください。
それでもメッセージが表示される場合は、【パソコンの電源を切って取り外す場合】(27ページ)の手順を行ってください。

5 [OK] ボタンをクリックします。



6 本製品をUSBポートから取り外します。

7 本製品の電源を切ります。

●本製品を接続したままパソコンの電源を入れる

1 本製品の電源を入れます。

2 パソコンの電源を入れます。

●本製品を接続したままパソコンの電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【MOディスクを取り出す】(32ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。

●MOディスクを挿入する

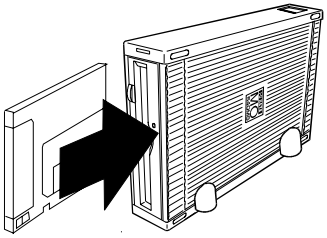
1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

注意

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



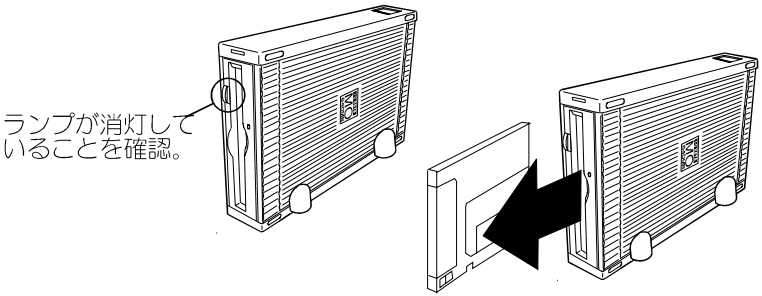
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



注意

MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(71ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

MOディスクのフォーマットには「MOディスクフォーマッタ」を使います。

次ページの【「MOディスクフォーマッタ」について】をご覧ください。

ユーティリティについて

ここでは、ユーティリティについて説明しています。

●ユーティリティは

ユーティリティは２つです。

MOディスクフォーマッタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３３

MOディスクをフォーマットするユーティリティです。

フォーマット／イジェクト権限変更ツール・・・・・・・・・・・・・ ３６

Windows 2000では、Administrator権限のユーザーのみがMOディスクをフォーマット／イジェクトできます。しかし、このツールを使えば、Administrator権限を持っていないユーザーでもMOディスクをフォーマット／イジェクトできるようになります。

●「MOディスクフォーマッタ」について

「MOディスクフォーマッタ」を使えば、MOディスクをフォーマットできます。

注意

ユーザー権限の場合

Windowsが起動してから本製品を接続した場合は、フォーマットが正常に行えません。その際は、一度Administrator権限を持つアカウントでログオンしなおすか、Windowsを再起動してください。

参考

すべてのユーザーで、MOディスクをフォーマットしたい場合は

Windows 2000では、Administrator権限を持つユーザーのみフォーマットすることができます。

【「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について】(36ページ)をご覧になり、権限を［全てのユーザー］に変更してください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合は

「MOディスクフォーマッタ」による物理フォーマットをすることにより再び使うことができる場合があります。

フォーマット方法

1 本製品にMOディスクを挿入します。

2 「MOディスクフォーマッタ」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［MOディスクフォーマッタ］の順にクリックします。

3 本製品を選びます。

4 フォーマット形式を設定します。

フォーマット形式および物理フォーマットするかどうかを設定します。

参考

選択できるフォーマット形式

・フロッピィ形式(FAT16)　・フロッピィ形式(FAT32)

・ハードディスク形式(FAT16)　・ハードディスク形式(FAT32)

通常は、「フロッピィ形式（FAT16）」でフォーマットしてください。

(FAT32)のフォーマット形式でフォーマットしたMOディスク

MS-DOSなどのFAT32に対応していないOSでは読み書きできません。

物理フォーマットは通常行う必要はありません

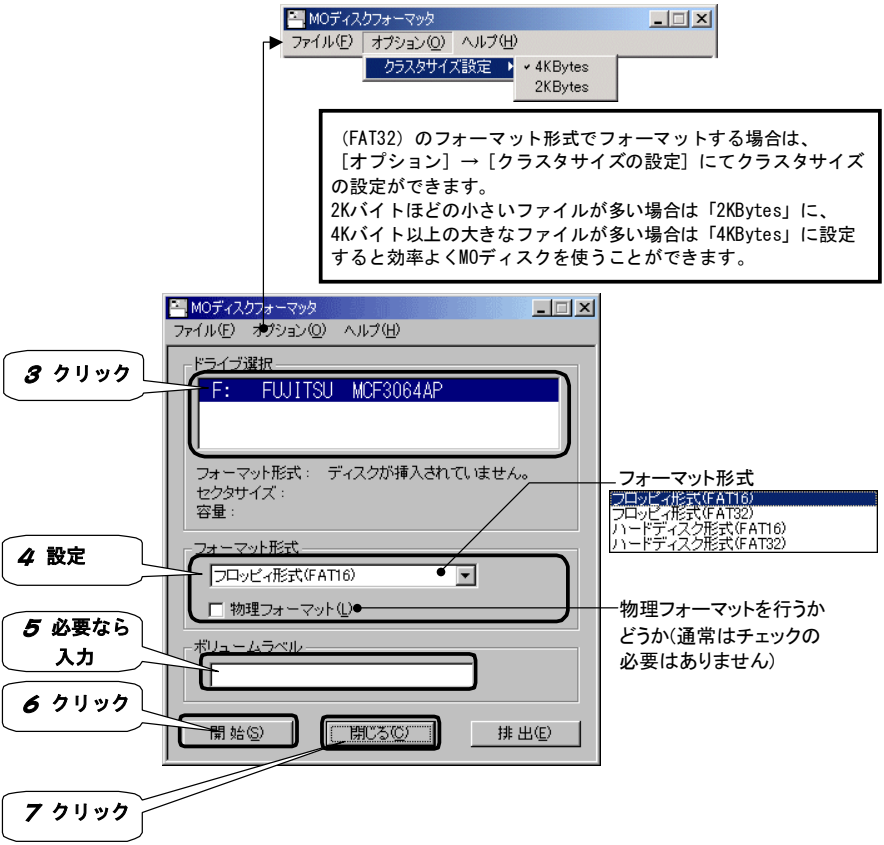
時間がかかるため、通常は物理フォーマットにチェックしないでください。

5 必要ならば、ボリュームラベルを入力します。

6 ［開始］ボタンをクリックします。

7 ［閉じる］ボタンをクリックします。

（FAT32）の場合のみ


MOディスクフォーマッタ
ファイル(F)
オプション(O)
ヘルプ(H)
クラスタサイズ設定
4KBytes
2KBytes
（FAT32）のフォーマット形式でフォーマットする場合は、
［オプション］→［クラスタサイズの設定］にてクラスタサイズの設定ができます。
2Kバイトほどの小さいファイルが多い場合は「2KBytes」に、
4Kバイト以上の大きなファイルが多い場合は「4KBytes」に設定すると効率よくMOディスクを使うことができます。
MOディスクフォーマッタ
ファイル(F)
オプション(O)
ヘルプ(H)
ドライブ選択
F: FUJITSU MCF3064AP
フォーマット形式： ディスクが挿入されていません。
セクタサイズ：
容量：
フォーマット形式
フロッピィ形式(FAT16)
物理フォーマット(L)
ボリュームラベル
開始(S)
閉じる(C)
排出(E)
3 クリック
4 設定
5 必要なら入力
6 クリック
7 クリック
フォーマット形式
フロッピィ形式(FAT16)
フロッピィ形式(FAT32)
ハードディスク形式(FAT16)
ハードディスク形式(FAT32)
物理フォーマットを行うかどうか(通常はチェックの必要はありません)

●「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について

「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を使えば、Administrator権限を持っていないユーザーでもMOディスクをフォーマット／イジェクトできるようにすることが可能です。

権限変更方法

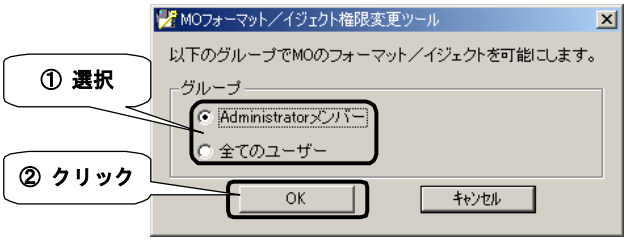
1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

2 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」を起動します。

［スタート］→［プログラム］→［MO Utilities］→［フォーマット／イジェクト権限変更ツール］の順にクリックします。

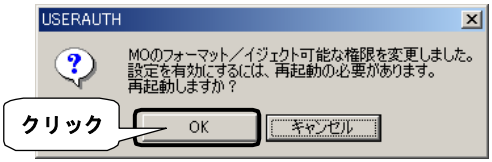
3 権限を変更します。

「グループ」でフォーマット／イジェクトの権限を変更します。
終わりましたら、［OK］ボタンをクリックします。



4 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。



Windows Me/98でお使いの場合

使えるようにしよう

はじめて本製品をUSBポートに接続する際の手順について説明します。(38ページ)

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。(48ページ)

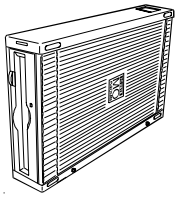
使えるようにしよう

はじめて本製品をUSBポートに接続する際の手順について説明します。

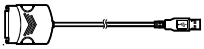
参考

用意するもの

・MO（MOA-i640S）



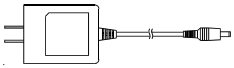
・USB 2.0コンバータケーブル



・MOA/US2シリーズサポートソフト



・添付のACアダプタ



●USB 2.0コンバータケーブルを使えるようにする

まず、USB 2.0コンバータケーブルを使えるようにします。

注意

まだUSB 2.0コンバータケーブルを接続しないでください

USB 2.0コンバータケーブルは本手順内で「接続する」という記載がある まで接続しないでください。（40ページの手順8以降で接続します。）

1 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 Windows Me/98を起動します。

パソコンの電源を入れて、Windows Me/98を起動します。

3 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「MOA/US2シリーズサポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

4 ［DDSETUP］アイコンをダブルクリックします。

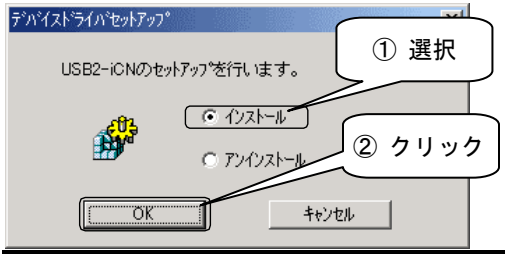
［マイコンピュータ］→［MOAUS2_xxx］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。



5 ［インストール］を選択します。

［インストール］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



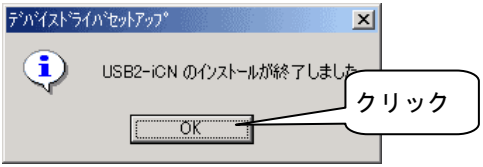
注意

このような画面が表示されたときは

【USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除する途中でエラー画面が表示される】(76ページ)をご覧ください。



6 [OK] ボタンをクリックします。



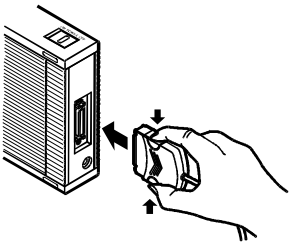
7 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

●接続する

USBポートへの接続について説明します。

8 USB 2.0コンバータケーブルをMOに接続します。

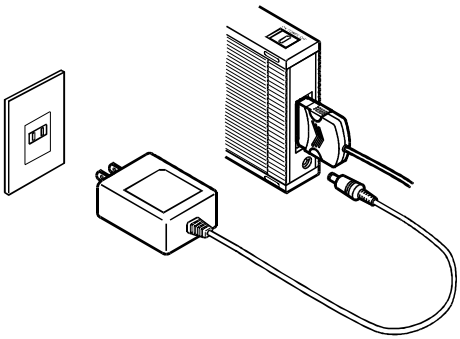
i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。



9 本製品を電源コンセントに接続します。

①MOに、添付のACアダプタを接続します。

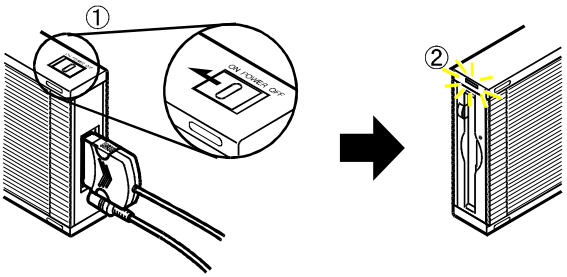
②ACアダプタを電源コンセントに接続します。



10 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に入れます。

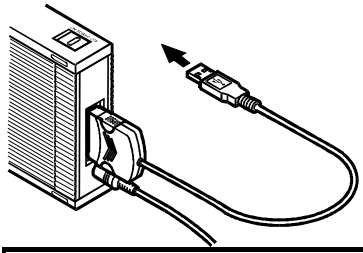
②電源ランプが点灯するのを確認します。



11 本製品をUSBポートに接続します。

USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



参考

はじめて本製品を接続した場合は

「新しいハードウェア」などの画面が表示され、しばらくすると消えます。

注意

［新しいハードウェア］画面が表示されたまま消えない

［キャンセル］ボタンをクリックし、USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから取り外します。

その後、手順1(38ページ)から本手順を行ってください。

●確認する

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

注意

弊社製 USB 2.0インターフェイスに接続する場合
各取扱説明書などをご覧になり、弊社製 USB 2.0インターフェイスが正常に動作しているかどうかをご確認ください。
その後、手順*19*(44ページ)にお進みください。

12 「システムのプロパティ」を開きます。

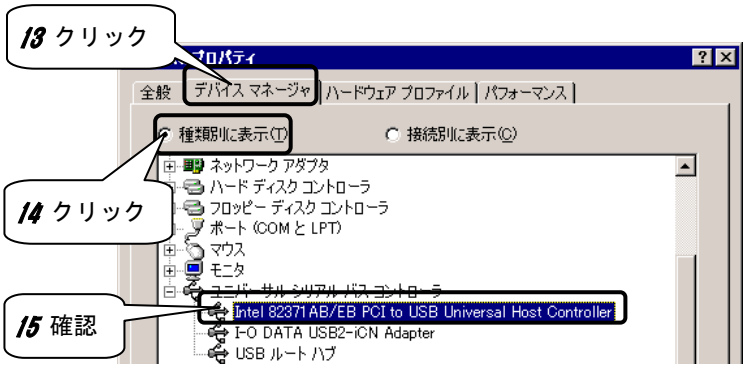
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

13 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

14 ［種類別に表示］を選択します。

15 USBコントローラの名前を確認します。

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラの名前を確認します。



参考

USBコントローラの名前は･･･
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

注意

USBコントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

16 ［接続別に表示］を選択します。

17 USBコントローラの名前を探します。

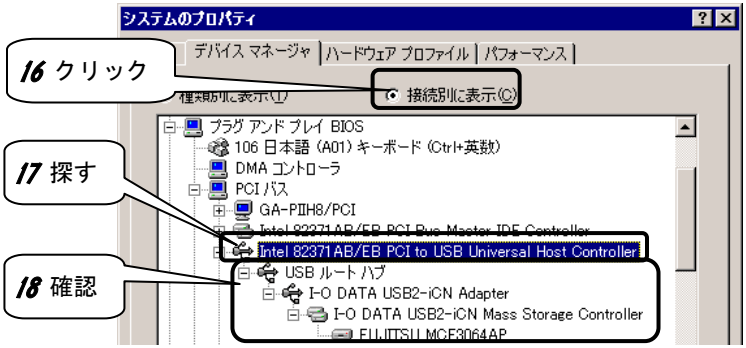
手順4で確認したUSBコントローラを探します。

参考

USBコントローラの位置は･･･
通常、USBコントローラは［PCIバス］の下にあります。
［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。

18 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。



注意

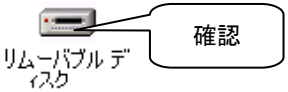
［USBルートハブ］に［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。
［I-O DATA USB2-iCN Adapter］、または［I-O DATA USB2-iCN Mass Storage Controller］に［!］が付いている
【サポートソフトの削除】(85ページ)の手順を行った後、もう一度【使えるようにしよう】(38ページ)の手順を行ってください。
［I-O DATA USB2-iCN Mass Storage Controller］の下に何もない
【接続する】(40ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

19 ［マイコンピュータ］を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

20 ［リムーバブルディスク］アイコンを確認します。

これが本製品のアイコンです。



注意

［リムーバブルディスク］アイコンがない

【本製品のアイコンが表示されない】(69ページ)をご覧ください。

参考

複数の［リムーバブルディスク］アイコンがある場合

Windowsでフォーマットされた**MO**ディスクを本製品のみに挿入します。

［リムーバブルディスク］アイコンを順番に開いていき、その**MO**ディスクの内容が表示されるアイコンが本製品のアイコンです。

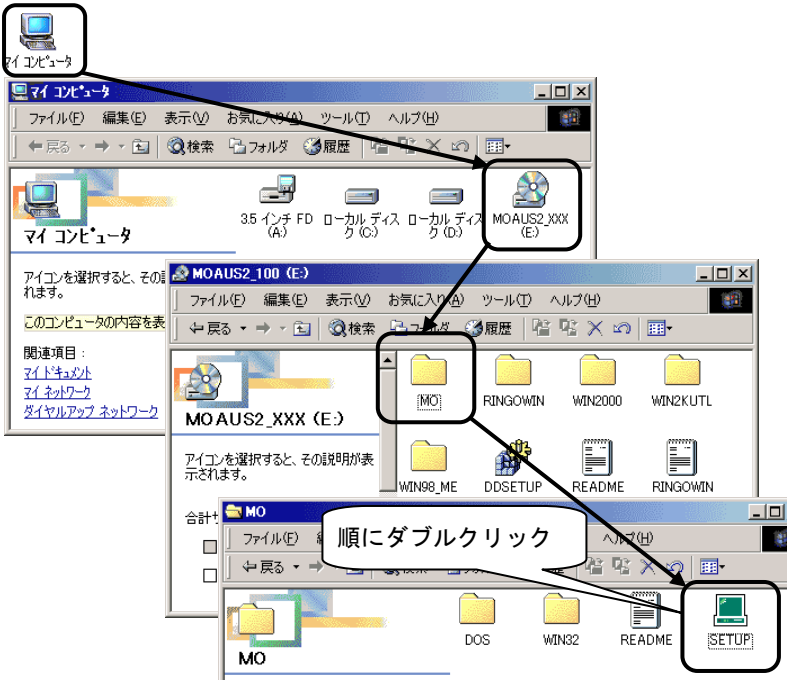
●MOを使えるようにする

MOを使えるようにします。

21 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

22 SETUPを実行します。

［マイコンピュータ］→［MOAUS2_xxx］→［MO］→［SETUP］の順にダブルクリックします。



23 Windows Me/98 SEでは、下の画面が表示されます。

すでに弊社製「MOA-i/1394シリーズ」をお使いの場合は、［はい］ボタンをクリックします。

それ以外の場合（MOA-AX/USBシリーズなど）は、［いいえ］ボタンをクリックします。



注意

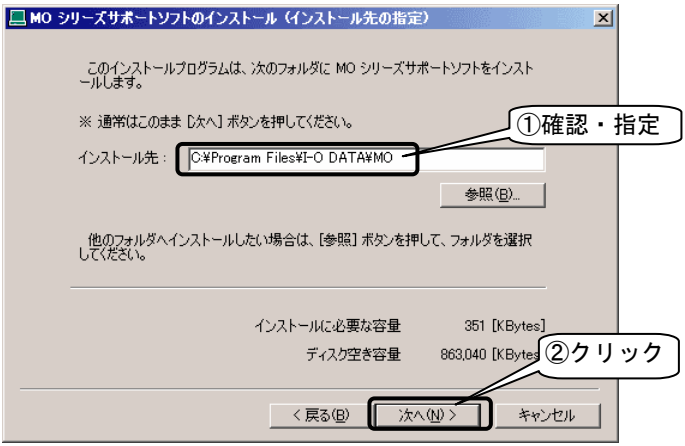
エラー画面が表示された

［OK］ボタンをクリックし、もう一度手順**14**から作業を行ってください。

その際、手順**16**では［いいえ］ボタンをクリックします。

24 ［次へ］ボタンをクリックします。

25 ［次へ］ボタンをクリックします。



参考

インストール先のフォルダを替えたい場合

［参照］ボタンをクリックして変更してください。

通常は変更する必要はありません。

［インストールに必要な容量］について

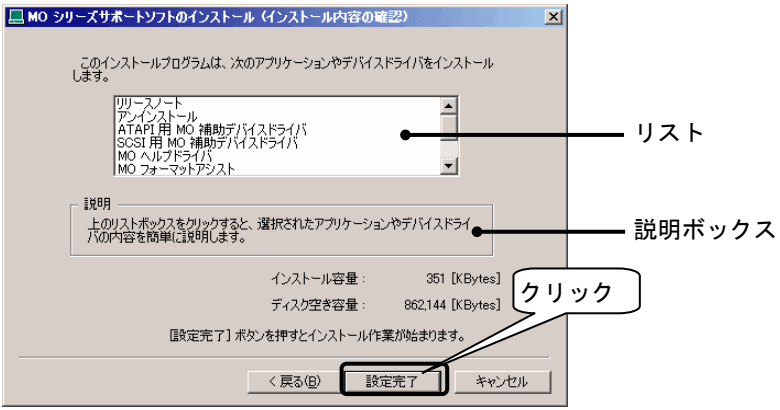
「インストールに必要な容量」の表示は、お使いのOSによって異なります。

26 手順**25**で指定したフォルダがない場合は作成します。

［はい］ボタンをクリックします。



27 ［設定完了］ボタンをクリックします。



参考

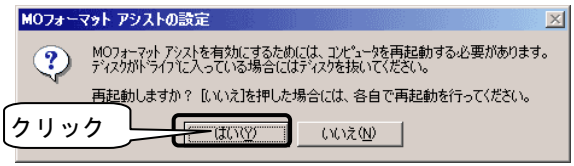
［説明］について
上のリスト内のインストールする項目を選択すると、下の説明ボックス内に選択した項目の説明が表示されます。

28 ［完了］ボタンをクリックします。

29 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を抜きます。

30 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒パソコンを再起動します。



以上で、本製品は使えるようになりました。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

●本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

●本製品を取り外す

パソコンの電源を切って取り外す

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【MOディスクを取り出す】(51ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品をUSBポートから取り外します。

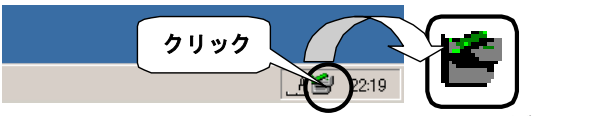
4 本製品の電源を切ります。

パソコンの電源を切らずに取り外す

参考

弊社製 USB 2.0インターフェイスをお使いの場合
手順が異なります。USB 2.0インターフェイスの取扱説明書をご覧ください。

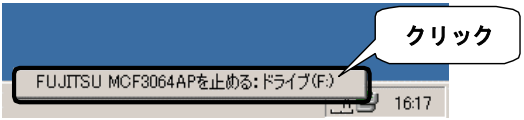
1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



リムーバブルツール

2 表示された［･････を止める］をクリックします。

複数の弊社製USB機器を接続している場合は、［･････を止める］の後に表示されるドライブ文字にて区別します。



注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使っているソフトウェアを全て終了します。
②本手順を行います。
※同じメッセージが表示されたら、【パソコンの電源を切って取り外す】(48ページ)の手順を行ってください。

3 ［OK］ボタンをクリックします。



注意

複数のUSB機器を取り外す場合
本手順を最後までしてから、次のUSB機器の取り外し作業をしてください。

4 本製品をUSBポートから取り外します。

5 本製品の電源を切ります。

●本製品を接続したままパソコンの電源を入れる

1 本製品の電源を入れます。

2 パソコンの電源を入れます。

●本製品を接続したままパソコンの電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【MOディスクを取り出す】(51ページ)をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。

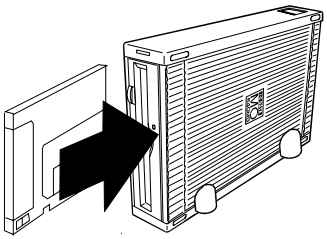
●MOディスクを挿入する

1 MOディスクを挿入します。
MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

注意

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



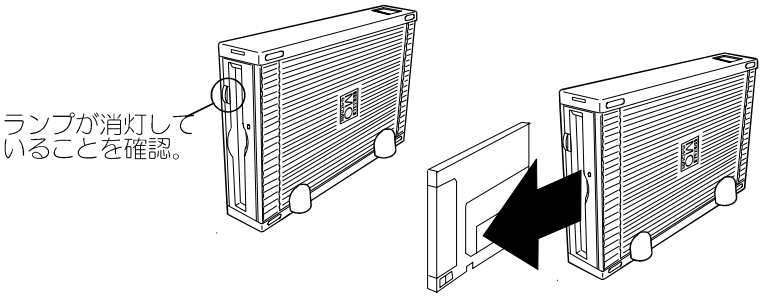
●MOディスクを取り出す

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 Windows上で［取り出し］をクリックします。

本製品のアイコンを右クリックし、表示された［取り出し］をクリックします。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



注意

MOディスクを取り出せない

【MOディスクを取り出せない】(71ページ)をご覧ください。

●MOディスクをフォーマットする

参考

Mac OSとデータを交換するためのフォーマットについて
【Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう】(93ページ)をご覧ください。
MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、SCSI MOか、Windows 2000の「MOディスクフォーマッタ」にて、そのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

方法については【MOディスクを取り出す】(51ページ)をご覧ください。

参考

いきなり手順*3*の画面になることがあります。
その場合は、手順３にお進みください。

2 [MOフォーマット]を起動します。

「マイコンピュータ」内の［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックし、表示された「MOフォーマット」をクリックします。



注意

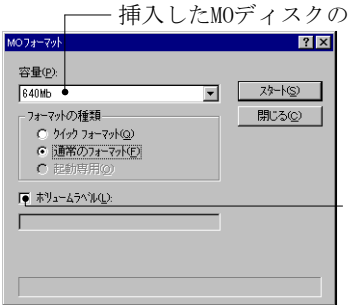
[MOフォーマット]が表示されない
【「MOフォーマット」が表示されない】(79ページ)をご覧ください。

参考

[MOフォーマット]と［フォーマット］が同時に表示される場合
問題無くお使いいただけます。［MOフォーマット］をクリックしてください。
［フォーマット］では、フォーマットしないでください。

3 設定を選び、[スタート]ボタンをクリックします。

MOディスクに保存されているファイルは、すべて消去されます。



・クイックフォーマット（通常のフォーマットより早い）
一度フォーマットしたことのあるMOディスクの場合に選択します。
MOディスクが損傷している可能性がある場合は、クイック
フォーマットを選択しないでください。

・通常のフォーマット
購入直後のMOディスクなどをフォーマットする時に選択します。

・起動専用
選択しないでください。
USBコンバータケーブルに接続したMOドライブ(に挿入したMOディスク）から起動することはできません。

4 フォーマット後、［閉じる］をクリックします。

フォーマットが終了すると、MOディスクが取り出され、フォーマット結果が表示されます。

確認後、［閉じる］をクリックしてください。

5 ［閉じる］ボタンをクリックします。

参考

フォーマット後は
フォーマット後のMOディスクは一度「スキャンディスク」をかけることをお勧めします。

Memo

Mac OSでお使いの場合



Mac OSでお使いの場合は･･･
本製品はUSB (1.1)機器として認識されます。

iMacをお使いの方へ

一部のiMacをお使いの方に必要な設定と注意事項について説明します。(56ページ)

▼

使えるようにしよう

はじめて本製品をUSBポートに接続する際の手順について説明します。(58ページ)

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。(63ページ)

iMacをお使いの方へ

iMac DVシリーズやiMacブルーベリー(M7469J/A)をお使いの方に必要な設定と注意事項について説明します。

参考

対象以外の機種をお使いの方は

iMac DVシリーズやiMacブルーベリー(M7469J/A)以外をお使いの方は、【使えるようにしよう】(58ページ)へお進みください。

●設定が必要な理由

MOディスクの読み書き中にスリープすると、下のような現象が起こる場合があります。

・パソコンの電源ランプはグリーンに戻っているが、画面に何も映らない
・画面は映るが、パソコンが動かなくなる

●設定する

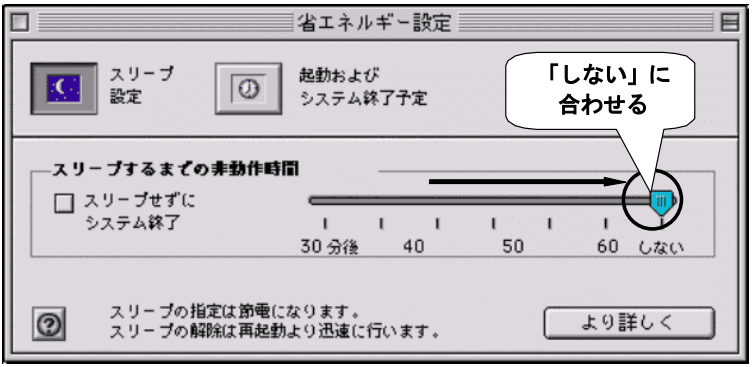
自動でスリープしないように設定します。

1 ［省エネルギー設定］を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［省エネルギー設定］をクリックします。

2 ［スリープするまでの非動作時間］を［しない］にします。

スリープを設定するスライダーを［しない］にします。
⇒これで自動的にスリープすることはなくなります。



●注意事項

下の内容にご注意ください。

- **手動で［スリープ］の手順を行わないでください。**
  ［Finder］メニューの［特別］→［スリープ］をしないでください。

●スリープをしてしまった場合

正常にパソコンが動かなくなったら、下の作業を行ってください。

1. **パソコンの電源を切ります。**
   パソコンにある電源ボタンを5秒以上押し続け、電源を切ります。
2. **もう一度パソコンを起動してください。**

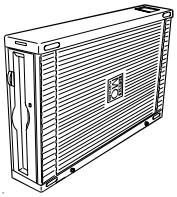
使えるようにしよう

はじめて本製品をUSBポートに接続する際の手順について説明します。

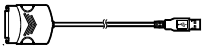
参考

用意するもの

・MO（MOA-i640S）



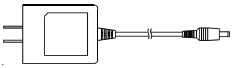
・USB 2.0コンバータケーブル



・MOA/US2シリーズサポートソフト



・添付のACアダプタ



●USB 2.0コンバータケーブルを使えるようにする

USB 2.0コンバータケーブルを使えるようにします。

注意

ここでは、まだUSB 2.0コンバータケーブルを接続しないでください
USB 2.0コンバータケーブルは本手順内で「接続する」という記載がある
まで接続しないでください。（次ページの手順**5**以降で接続します。）

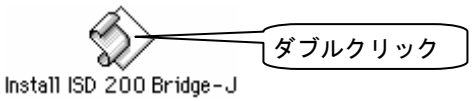
1 Mac OSを起動します。

2 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

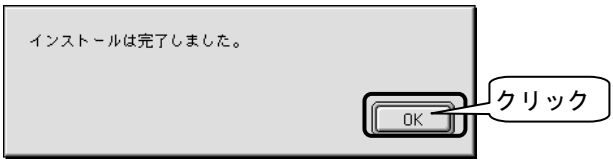
「MOA/US2シリーズサポートソフト」をCD-ROMドライブに挿入します。

3 ［Install ISD 200 Bridge-J］をダブルクリックします。

自動で開いた画面にある［Install ISD 200 Bridge-J］アイコンをダブルクリックします。



4 [OK] ボタンをクリックします。

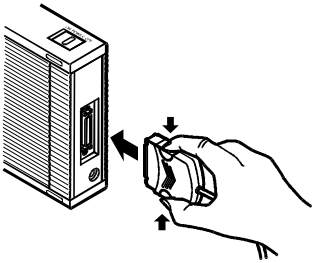


●接続する

USBポートへの接続について説明します。

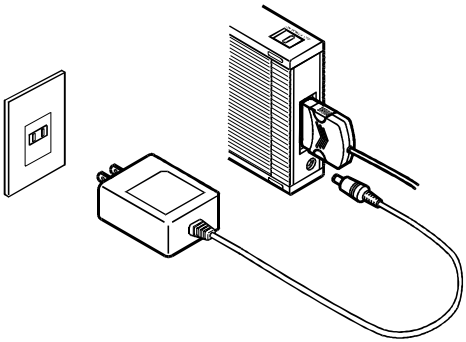
5 USB 2.0コンバータケーブルをMOに接続します。

i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、MOにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。



6 本製品を電源コンセントに接続します。

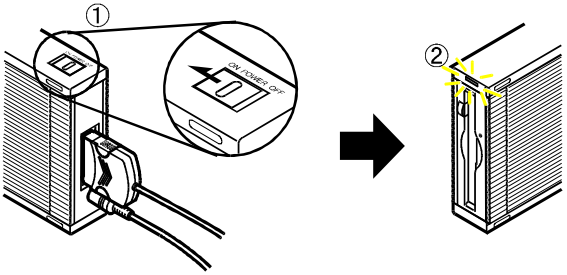
①MOに、添付のACアダプタを接続します。
②ACアダプタを電源コンセントに接続します。



7 本製品の電源を入れます。

①電源スイッチを「ON」側に入れます。

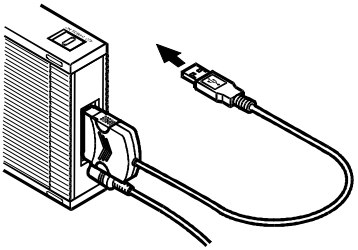
②電源ランプが点灯するのを確認します。



8 本製品をUSBポートに接続します。

USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートにまっすぐに接続します。

USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



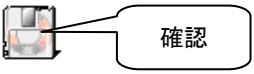
●確認する

ここでは本製品が使えるかどうかを確認します。

9 本製品にフォーマット済みMOディスクを挿入します。

10 MOディスクのアイコンが表示される事を確認します。

デスクトップ上にMOディスクのアイコンが表示されます。



注意

アイコンがない
【本製品のアイコンが表示されない】(69ページ)をご覧ください。

11 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

［アップルメニュー］→［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

12 ［デバイス(装置)とボリューム］タブをクリックします。

13 ［I-O DATA USB2-iCN］を確認します。

［USB x］の中に［I-O DATA USB2-iCN］があることを確認します。

注意

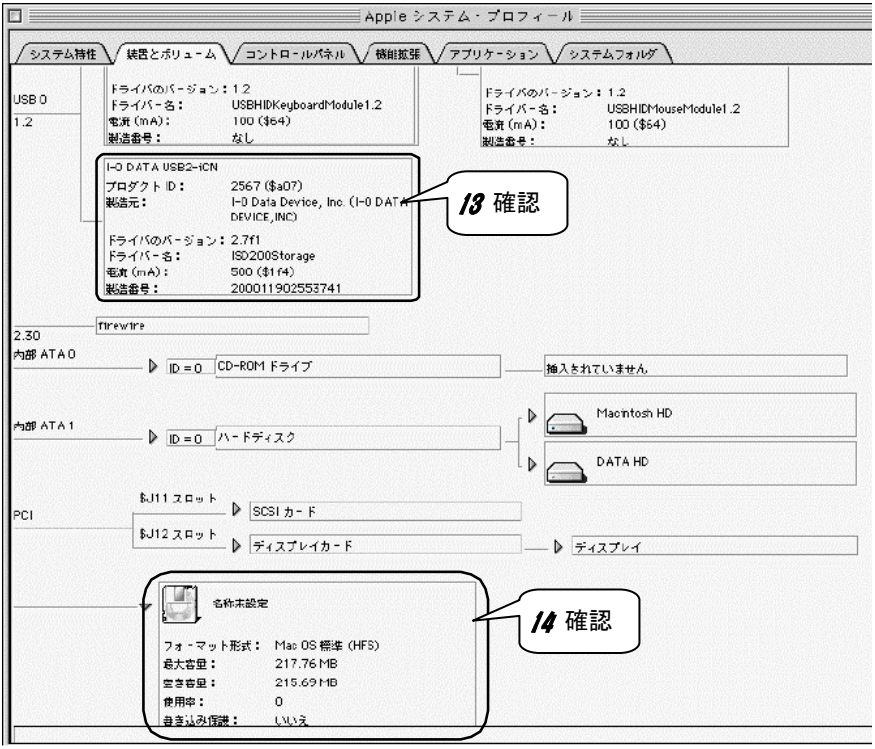
［I-O DATA USB2-iCN］がない
【接続する】(59ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。
それでも表示されない場合は、【サポートソフトの削除】(85ページ)の手順を行ってください。
その後、【使えるようにしよう】(58ページ)の手順を行ってください。

14 MOディスクを確認します。

［USB］の中にMOディスクがあることを確認します。

注意

MOディスクがない
本製品にMOディスクが挿入されていない場合は、【MOディスクを挿入する】(64ページ)をご覧になり、MOディスクを挿入します。
また、【接続する】(59ページ)をご覧になり、接続と電源を確認します。



以上で、本製品は使えるようになりました。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

●本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 本製品の電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

●本製品を取り外す

パソコンの電源が入っていてもいなくても、本手順で取り外すことができます。

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【MOディスクを取り出す】(64ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

3 本製品の電源を切ります。

●本製品を接続したままパソコンの電源を入れる

1 本製品の電源を入れます。

2 パソコンの電源を入れます。

●本製品を接続したままパソコンの電源を切る

1 本製品からMOディスクを取り出します。
方法については【MOディスクを取り出す】(64ページ)をご覧ください。

2 Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 本製品の電源を切ります。

●MOディスクを挿入する

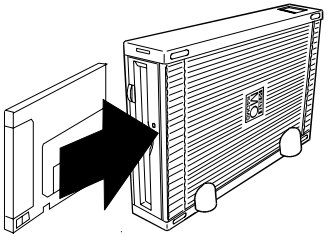
1 MOディスクを挿入します。

MOディスクの表側をアクセスランプに向けてMOディスク挿入口へまっすぐに挿入し、カチッと音がするまで押し込みます。

注意

MOディスクの金属部分を持たないでください
静電気が本製品内部に放電され、故障の原因となります。

2 アクセスランプが点灯後、消灯したことを確認します。



●MOディスクを取り出す

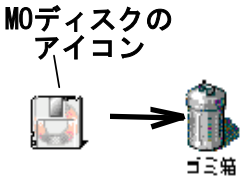
参考

イジェクトボタンは使えません
イジェクトボタンを押してもMOディスクは取り出せません。

1 本製品のアクセスランプが消灯しているのを確認します。

2 MOディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。

⇒自動的にMOディスクが出てきます。



注意

MOディスクを取り出せない
【MOディスクを取り出せない】(71ページ)をご覧ください。

●MOディスクを初期化する

参考

フォーマッタソフトは使えません
B'sCrew等のフォーマッタソフトは、SCSIまたはATAPIの機器に対してのみ有効です。USB機器となる本製品では使えません。（フォーマッタソフトで初期化されたMOディスクは問題無く使えます）

Windows Me/98とデータを交換するための初期化について
【Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう】(93ページ)をご覧ください。

MOディスクに一部読み書きできない不良セクタができた場合
そのMOディスクをそれ以上使わないでください。
ただし、SCSI MOか、Windows 2000の「MOディスクフォーマッタ」にてそのMOディスクを物理フォーマットすることにより再び使うことができる場合があります。

1 本製品にMOディスクを挿入します。

⇒デスクトップにMOディスクのアイコンが表示されます。

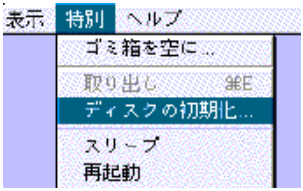
注意

いきなり手順**4**の画面になることがあります。
その場合は、次ページの手順**4**にお進みください。

2 MOディスクのアイコンをクリックします。

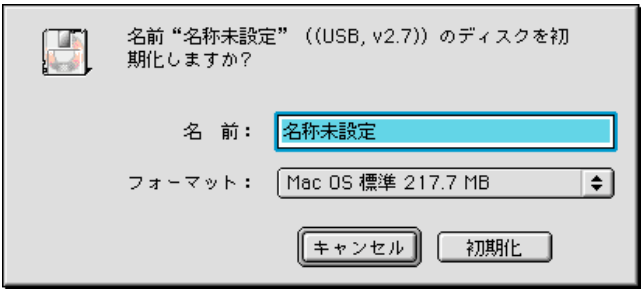
3 ［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。



4 初期化を行います。

フォーマットには［Mac OS標準］を選ぶことをお勧めします。



注意

初期化できない

【MOディスクを初期化できない】(81ページ)をご覧ください。

参考

本製品で初期化したMOディスクは

Mac OS上で有効な他のMOでも使えます。

ただし、このMOディスクからOSを起動することはできません。

DOS形式を選択して初期化したい場合は

Windowsでフォーマットしてください。

DOS形式フォーマットのみ選択可能の場合は

Windowsでフォーマットしてください。

初期化などの際に

「名前」の他にドライバ名とバージョンなどが入ることがありますが、問題ありません。



付録

困った時には
本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。(68ページ)

サポートソフトの削除
サポートソフトの削除方法について説明します。(85ページ)

RINGOWIN LEについて
RINGOWIN LEについて説明します。(92ページ)

Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう
Windows Me/98とMac OSでデータを交換する方法について説明しています。(93ページ)

用語解説
本書内の用語を説明します。(95ページ)

ハードウェア仕様
本製品の仕様を説明します。(96ページ)

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない	６９
MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する	７０
フォーマットや書き込み中に処理が中断される	
MOディスクにファイルの書き込みができない	
MOディスクを読み書き中は、他のUSB機器が認識されない	
MOディスクを挿入しても反応がない	７１
MOディスクを取り出せない	

Windows 2000でのトラブル

USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除する途中でエラー画面が表示される	７２
「ドライブのロックに失敗しました」と表示される	７３
Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない	
NTFS形式のMOディスクを読み書きできない	７４
アクセスランプが点灯していないのにエラー画面が表示される	

Windows Me/98でのトラブル

USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除する途中でエラー画面が表示される	７６
MOを使えるようにする途中でエラー画面が表示される	７７
ファイルの読み書きができない	
MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	７８
十分な空き容量があるのに書き込みができない	
「MOフォーマット」が表示されない	７９

Mac OSでのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される	８１
640MバイトのMOディスクを「検証」したらエラー報告された	
本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない	
MOディスクを初期化できない	
「USB装置 “I-O DATA USB2-iCN” ……」と表示される	８２
データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	

共通のトラブル

本製品のアイコンが表示されない

原因１ 「更新」されていない(Windowsのみ)

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因２ MOディスクが挿入されていない(Mac OSのみ)

MOディスクを挿入してください。(64ページ参照)

原因３ 接続するUSBポートによっては認識されない

接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

原因４ 正常に認識されていない

【確認する】(20,42,61ページ)をご覧になり、正常認識されているか確認してください。

原因５ 他のUSB機器がUSBのデータ転送幅を全て使っている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の動作が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

原因６ ドライブが割り当てられていない(Windows Me/98のみ)

【ドライブ名の予約】(80ページ)をご覧ください。

原因７ 機能拡張が競合している(Mac OSのみ)

【機能拡張の競合解消方法】(83ページ)をご覧ください。

MOディスクの読み書き中にデータエラーが発生する

原因 本製品のヘッドが汚れている

【取り扱う・使う上での注意】(5ページ)をご覧になり、本製品のヘッドをクリーニングしてください。

フォーマットや書き込み中に処理が中断される

原因 長時間使うことで高温になり、安全装置が働いた

システムを終了してパソコンの電源を切り、MOが冷えるまでしばらくお待ちください。

MOディスクにファイルの書き込みができない

原因 MOディスクがライトプロテクトされている

MOディスクのライトプロテクトを解除してから、ファイルを書き込んでください。ライトプロテクトについては、MOディスクの説明をご覧ください。

MOディスクを読み書き中は、他のUSB機器が認識されない

原因 本製品がUSBのデータ転送幅を全て使っている

この場合すぐには、認識されません。MOディスクの読み書きが終わるまでお待ちください。

MOディスクを挿入しても反応がない

原因１　他のUSB機器がUSBのデータ転送幅を全て使っている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の動作が終わった時点でMOディスクを使えるようになります。

原因２　動作がおかしくなっている

他のUSB機器が動作していない場合、USBポートに接続している本製品を抜き挿ししてください。

MOディスクを取り出せない

原因１　パソコンの電源が入っていない(Mac OSのみ)

パソコンの電源を入れた状態で、MOディスクを取り出してください。

原因２　機械的な故障や、その他の理由で取り出せない

パソコンの電源を切ってから、MOの電源を切ります。添付の強制イジェクト・ピンを強制イジェクト・ホールに約25mmほど差し込むとイジェクトします。

※ これは、緊急時の操作です。
むやみに使うと故障の原因となります。
この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。

Windows 2000でのトラブル

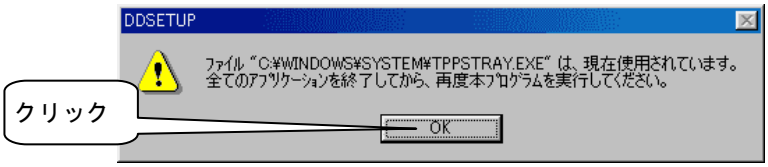
USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除する途中でエラー画面が表示される

原因 USB機器を接続している

USB機器を接続したままで、USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除できません。下記の手順を行ってください。

1 [OK] ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



参考

USBのCD-ROMドライブをお使いの方へ

この手順では、作業できません。

【サポートソフトのコピー方法】(75ページ)の手順を行ってください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

3 もう一度、作業を行います

【使えるようにしよう】(16ページ)か、【サポートソフトの削除】(85ページ)の手順を行ってください。

「ドライブのロックに失敗しました」と表示される

原因 MOディスク内のファイルを開いている

「MOディスクフォーマッタ」の作業時に、他のアプリケーションでMOディスク内のファイルを開いていたり、「エクスプローラ」でMOディスク内を開いていると、このエラーが表示されます。
MOディスク内を開いているすべてのアプリケーションを終了し、もう一度フォーマットしてください。

Administrator権限以外のユーザーでお使いの場合、MOディスクのフォーマットや取り出しができない

原因１ 「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」で権限を「全てのユーザー」にしていない

Windows 2000は、そのままではAdministrator権限以外のユーザーにてMOディスクのフォーマットや取り出しをすることはできません。
【「フォーマット／イジェクト権限変更ツール」について】(36ページ)をご覧になり、権限を「全てのユーザー」にしてください。

原因２ 本製品を接続したまま起動していない

MOディスクをフォーマットしたり、取り出したい場合は、必ず電源の入った本製品を、USBポートに接続した後でWindows 2000を起動してください。
また、この方法でWindows 2000を起動しても一度本製品をUSBポートから取り外し、再び接続した場合はMOディスクをフォーマットしたり取り出したりすることはできません。その際は、本製品を接続したまま、Windows 2000を再起動してください。

NTFS形式のMOディスクを読み書きできない

原因 MOディスクがライトプロテクト状態になっている

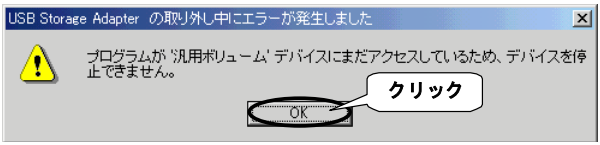
他のMOなどで作ったNTFS形式のMOディスクをお使いになる場合は、ライトプロテクトノッチを書き込み許可にしてください。

アクセスランプが点灯していないのにエラー画面が表示される

原因 「MOディスクフォーマッタ」で物理フォーマットしたか、フォーマット後すぐに本製品を取り外した

本製品を取り外すとき、本製品のアクセスランプが点灯していないのに、手順 *1* の画面が表示された場合は、以下の手順で取り外せます。

1 [OK] ボタンをクリックします。



2 Windows 2000を再起動します。

3 USBポートから本製品を取り外します。

【基本操作について】(27ページ)をご覧ください。

サポートソフトのコピー方法

1 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

CD-ROMドライブに、「MOA/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

2 デスクトップに［新しいフォルダ］フォルダを作ります。

デスクトップを右クリックし、［新規作成］→［フォルダ］の順にクリックします。

⇒［新しいフォルダ］フォルダを作成します。

3 データを［新しいフォルダ］フォルダにコピーします。

「MOA/US2シリーズサポートソフト」内の下記のファイル・フォルダを、［新しいフォルダ］フォルダにコピーします。

- DDSETUP
- ［WIN2000］フォルダ
- ［WIN98_ME］フォルダ



コピー方法

［WIN2000］フォルダをコピーする方法例を紹介します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
②CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
③［WIN2000］フォルダをクリックします。
④メニューから［編集］→［コピー］をクリックします。
⑤［新しいフォルダ］フォルダをダブルクリックします。
⑥メニューから［編集］→［貼り付け］をクリックします。
⇒［WIN2000］フォルダがコピーされます。

4 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

5 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

6 ［DDSETUP］アイコンをダブルクリックします。

［新しいフォルダ］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。

この後、エラー画面が表示された手順に戻り、作業を続けてください。

Windows Me/98でのトラブル

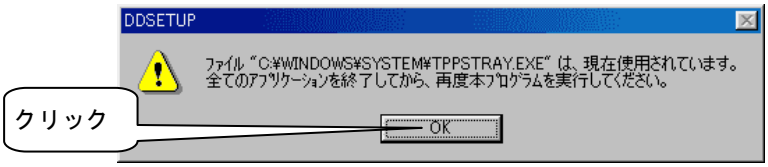
USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除する途中でエラー画面が表示される

原因 USB機器を接続している

USB機器を接続したままで、USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除できません。下記の手順を行ってください。

1 [OK] ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



参考

USBのCD-ROMドライブをお使いの方へ

この手順では、作業できません。

【サポートソフトのコピー方法】(75ページ)の手順を行ってください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

3 もう一度、作業を行います

【使えるようにしよう】(38ページ)か、【サポートソフトの削除】(85ページ)の手順を行ってください。

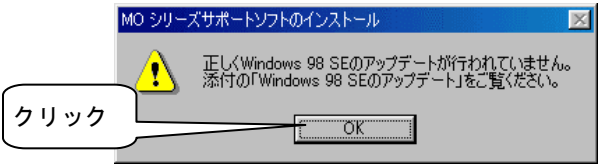
MOを使えるようにする途中でエラー画面が表示される

原因　MOA-i/1394シリーズを使っていない

MOA-i/1394シリーズをすでにお使いの場合、下の画面が表示されることはありません。下記の手順を行ってください。

1　［OK］ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



2　もう一度、【使えるようにしよう】の手順を行います

【使えるようにしよう】(38ページ)の手順を行ってください。
その際、手順**16**で［いいえ］をクリックしてください。

ファイルの読み書きができない

原因　MOディスクのフォーマット形式が異なっている

1)MOディスク内のデータが必要ない場合は、【MOディスクをフォーマットする】(52ページ)の手順でフォーマットしてお使いください。（データは全てなくなります）

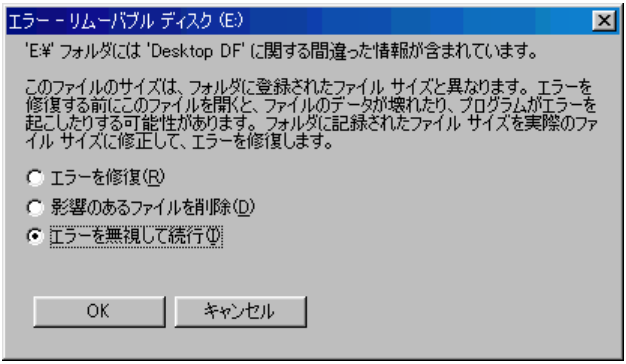
2)Macintoshのフォーマット形式の場合は、「RINGOWIN LE」を使ってください。

※ ただし、Mac OSで本製品を使ってフォーマットしたMOディスクは「RINGOWIN LE」では認識できません。

MOディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る

原因　そのMOディスクを一度Macintoshで使っている

一度、Mac上にマウントしたDOSフォーマット(IBM,もしくはFDISK)のMOディスクをWindows 98上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「Desktop DF」は、Mac OS上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。



十分な空き容量があるのに書き込みができない

原因　ルートフォルダに置くことの出来るファイル数を超えている

ルートフォルダ（MOディスクの一番上）に置くことの出来るファイル（フォルダ）の数には制限があります。制限を超えると空き容量があってもエラーが表示され、書き込む事が出来なくなることがあります。

その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダの作成を行ってください。

作成されたフォルダ内ではファイル数の制限はありません。

「MOフォーマット」が表示されない

原因 MOのインストールが正しく行われていないか、設定が正しくない

［スタート］→［プログラム］→［MOシリーズサポートソフト］があるかどうか、確認します。

無い場合は、【使えるようにしよう】(38ページ)を行います。

ある場合は、さらにその先の［MOフォーマットアシストの設定］をクリックし、「MOフォーマットアシストを有効」にします。

すでに「MOフォーマットアシストを有効」になっていた場合は、【サポートソフトの削除】(85ページ)の作業を行い、その後、もう一度【使えるようにしよう】(38ページ)を行ってください。

ドライブ名の予約

1 「システムのプロパティ」を開きます。
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［接続別に表示］を選択します。

4 「MOのドライバ」をダブルクリックします。
「MOのドライバ」は、［I-O DATA USB2-iCN Mass Storage Controller］の下にあります。

5 ［設定］タブをクリックします。

6 「予約ドライブ文字」を設定します。
［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

9 OSを再起動します。

Mac OSでのトラブル

「タイプ -110エラー」のウィンドウが表示される

原因 DOSフォーマットのMOディスクを読み書きした

MacintoshでDOSフォーマット（スーパーフロッピー形式もしくはFDISK形式)のMOディスクを読み書きしたときにタイプ-110エラーが出る場合があります。
このエラーはファイルのデータを破壊するものではありません。
表示された場合は、再度ファイル操作をやり直してください。

640Mバイトの MOディスクを「検証」したらエラー報告された

原因 Mac OSの仕様のため

640MB MOディスク上のボリュームに対してDisk First Aidを起動し、「検証」を実行した場合、エラーレポートが報告される場合がありますが、問題なく使えます。

本製品に挿入したMOディスクからMac OSを起動できない

原因 Mac OSではUSB機器からの起動はできない

MOディスクを初期化できない

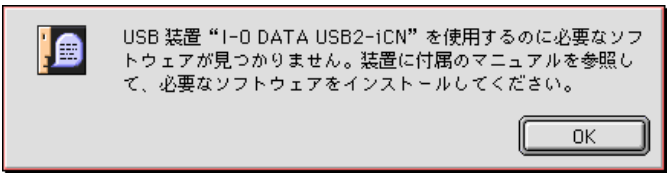
原因 AppleTalkが「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されている

この場合は、一時的に[Appleメニュー]-[セレクタ]を開き、AppleTalkを「不使用」にするか、[アップルメニュー]-[コントロールパネル]-[ファイル共有]コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上で初期化を行ってください。

「USB装置 “I-O DATA USB2-iCN” ・・・・・・」と表示される

原因　ドライバがインストールされていない

以下のような画面が出たら、［OK］ボタンを押し、【使えるようにしよう】(58ページ)をご覧になって、ドライバのインストールを行ってください。



データの入ったMOディスクを入れても初期化ウィンドウが出る

原因１　File Exchangeが「有効」になっていない

［Appleメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

「File Exchange」に「×」をつけて、再起動してください。



原因２　認識できないフォーマット形式である

そのMOディスクを読み出せる環境があれば、その環境でバックアップをし、その後、MOディスクを初期化しなおしてください。

機能拡張の競合解消方法

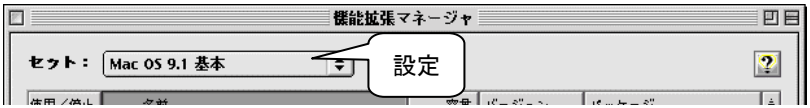
これはMac OS 9.1での手順です。
他のMac OSでは手順や表示が多少異なる場合があります。

1 「機能拡張マネージャ」を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2 ［セット］を［Mac OS xx 基本］に設定します。

※ xxにはMac OSのバージョンが入ります。



3 ［セットの複製］ボタンをクリックします。

⇒［セット］が［Mac OS xx 基本のコピー］になります。

4 ［ISD 200 BOT Bridge］に［×］を付けます。

5 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒Mac OSが再起動します。



6 本製品の動作を確認します。

MOディスクを本製品に挿入し、MOディスクのアイコンが画面に表示されることを確認します。
また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することもご確認ください。
動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

●Windowsの場合

USB 2.0コンバータケーブルを削除する

1 本製品をUSBポートから取り外します。

【本製品を取り外す】(27,48ページ)を参照してください。

2 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を挿入します。

「MOA/US2シリーズサポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

3 [Ddsetup] アイコンをダブルクリックします。

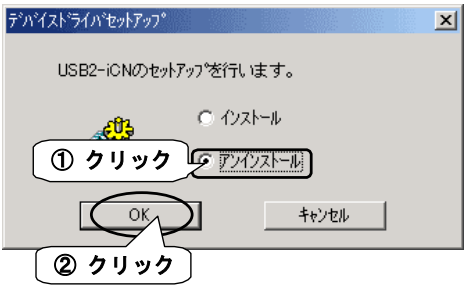
[マイコンピュータ] → [MOAUS2_xxx] → [Ddsetup] の順にダブルクリックします。

※ xxxには数字が入ります。



4 ［アンインストール］を選択します。

［アンインストール］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



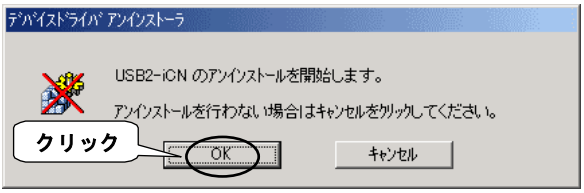
注意

このような画面が表示されたときは

【USB 2.0コンバータケーブルを使えるように/削除する途中でエラー画面が表示される】(76ページ)をご覧ください。



5 ［OK］ボタンをクリックします。



6 [OK]ボタンをクリックします。



7 「MOA/US2シリーズサポートソフト」を取り出します。

8 [はい] ボタンをクリックします。



注意

本手順後に他のUSB機器の認識が異常になる場合は
認識が異常になったUSB機器のインストールをもう一度行ってください。

MOの情報を削除する - Windows 2000の場合 -

1 パソコンの電源を切り、本製品を取り外します。

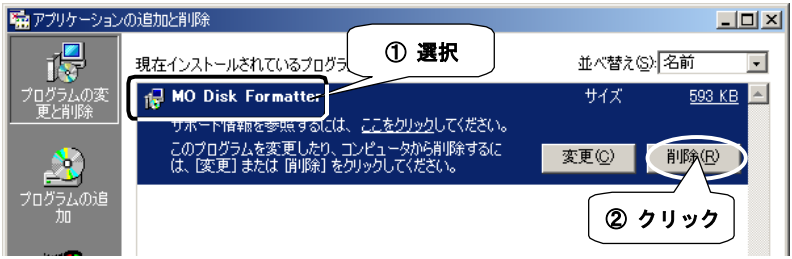
2 Administrator権限を持つユーザーでログオンします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］の順にクリックします。表示された「コントロールパネル」内の［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

4 ［MO Disk Formatter］を指定します。

［MO Disk Formatter］を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

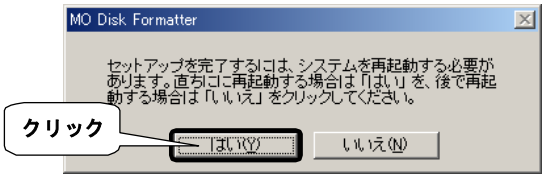


5 ［はい］ボタンをクリックします。



6 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。

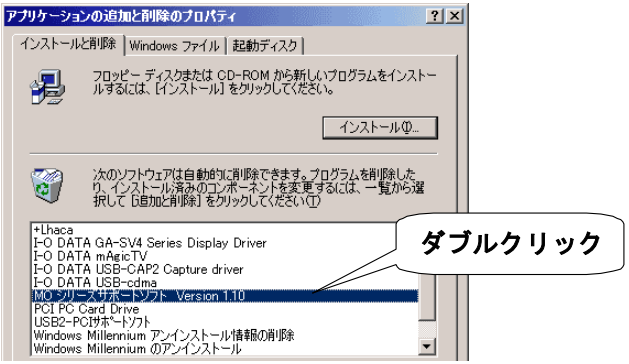


MOの情報を削除する - Windows Me/98の場合 -

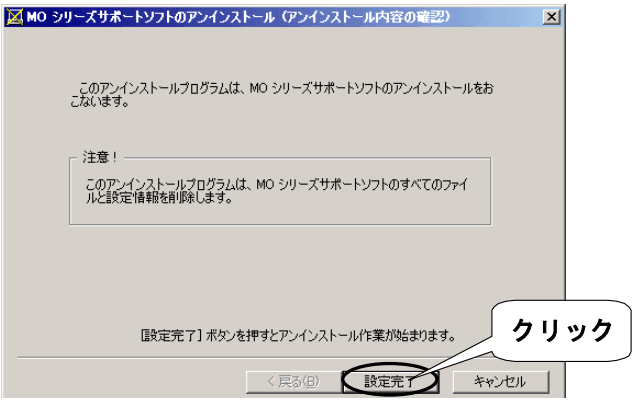
1 ［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］を起動します。

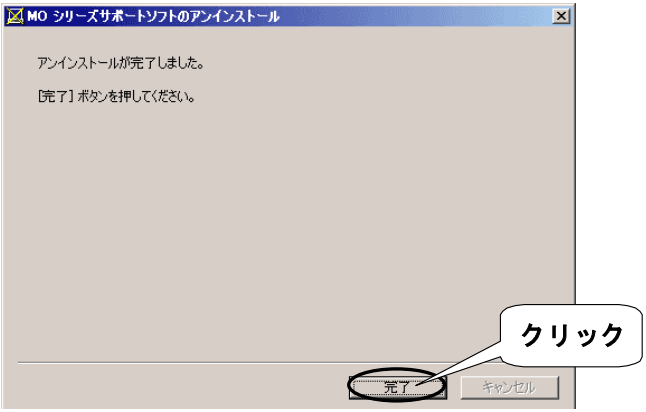
2 「MOシリーズサポートソフト」をダブルクリックします。



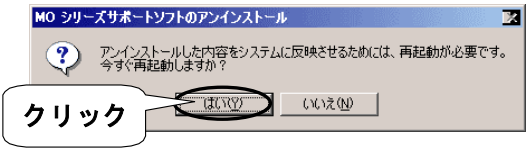
3 ［設定完了］ボタンをクリックします。



4 ［完了］ボタンをクリックします。



5 ［はい］ボタンをクリックします。



●Mac OSの場合

1 本製品をUSBポートから取り外します。

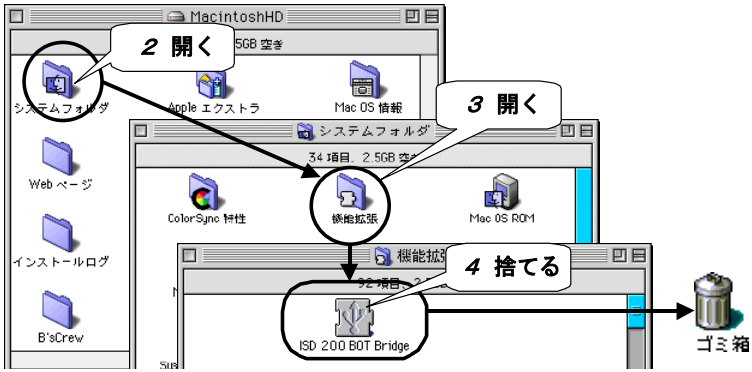
（【本製品を取り外す】(63ページ)参照）

2 ［システムフォルダ］アイコンをダブルクリックします。

3 ［機能拡張］アイコンをダブルクリックします。

4 ［ISD 200 BOT Bridge］を削除します。

［ISD 200 BOT Bridge］をゴミ箱に捨てます。



5 パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」します。

これで「USB 2.0コンバータケーブル」の削除は完了です。

RINGOWIN LEについて

RINGOWIN LEについて説明します。

●RINGOWIN LEとは？

Windows側でMacintoshフォーマットの MOディスクを読み取ったり、Macintosh フォーマットのMOディスクを作成できるWindows Me/98用ソフトウェアです。
これがあれば、WindowsでMac OSのデータを受け取ったり、Windowsのデータを変換して、Mac OSに渡すことができます。

●RINGOWIN LEのインストール

RINGOWINフォルダ（ディレクトリ）内の「Setup.exe」を実行します。
詳細については、オンラインマニュアルをご覧ください。



オンラインマニュアルについて
- **オンラインマニュアルは、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にある RINGOWIN.TXT（テキスト形式）やRWLE_1.DOC、RWLE_2.DOC、RWLE_3.DOC （WORD形式）です。**
- **WORD形式のオンラインマニュアルで、画面データなどが見づらい場合は、表示倍率を上げて（拡大して）ご覧ください。**

●RINGOWIN LEの使い方

本製品に添付のCD-ROMに、「RINGOWIN LE」のプログラム本体とオンラインマニュアルが入っています。
インストール方法や使用方法の詳細は、添付のCD-ROMのルートフォルダ内にある RINGOWIN.TXT（テキスト形式）またはRWLE_1.DOC、RWLE_2.DOC、RWLE_3.DOC（WORD形式）をご覧になるか、実行中にヘルプを参照してください。



RINGOWIN LEを使ったデータ交換について
【Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう】(次ページ)をご覧ください。

Windows Me/98とMac OSでデータ交換しよう

Mac OSとWindows Me/98とでデータを交換する方法について説明しています。

●データ交換の方法

MOディスクを下記の方法でフォーマットすることで、両方のOSで読み書きできるようにします。

●MOディスクのフォーマット

128～540MバイトのMOディスク

Windowsでフォーマットした MOディスク（スーパーフロッピー形式）をお使いください。

640MバイトのMOディスク

Windows上で「RINGOWIN LE」を使って、「Macintoshフォーマット」でフォーマットしたMOディスクをお使いください。

参考

Mac OSで頻繁に使うMOディスクは

容量にかかわらず「RINGOWIN LE」を使ってフォーマットすることをおすすめします。
ただし、「Mac & Windows 混在フォーマット(RINGOWIN フォーマット)」ではお使いいただけません。

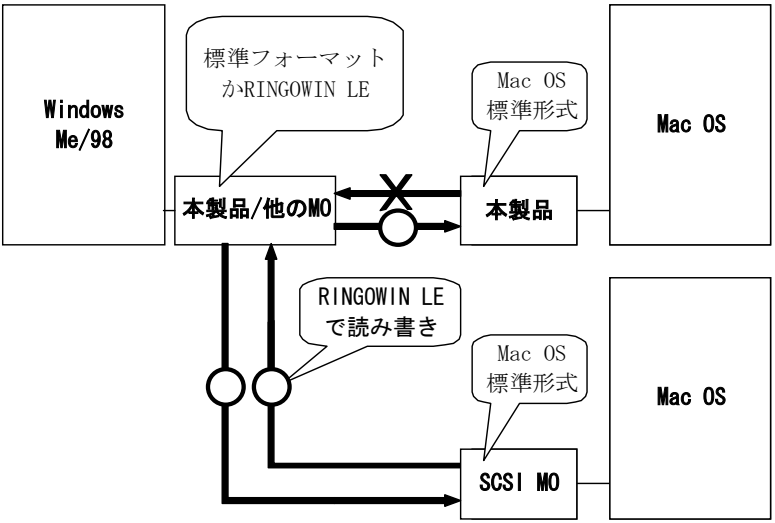
DOS形式について

Mac OSにてDOS形式の初期化を行うことはお勧めいたしません。
Windowsにてフォーマットを行ってください。

アプリケーション・データについて

Mac OS/Windows間のアプリケーション・データの互換性については、データを生成したアプリケーションの製作会社にお問い合わせください。

［参考］読み書き可能なフォーマット形式、MO相関表



［参考］Mac OS上で初期化可能なフォーマット形式、相関表

		選択可能なフォーマット形式		
		Mac OS標準	Mac OS拡張	DOS
挿入したMOディスクのフォーマット形式	未フォーマット	○	○	△
	Mac OS標準	○	○	×
	Mac OS拡張	○	○	×
	スーパーフロッピー形式※	○	○	△
	FDISK形式※	×	×	△

※ File Exchangeが有効であること

記号の説明

「○」可、「△」可だが推奨しない、「×」不可

用語解説

i･CONNECT［アイコネクト］

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格。

i･CONNECT搭載ドライブは、i･CONNECT対応オプションと接続することにより「USB」接続、「IEEE1394(FireWire,i.LINK)」接続または「PCカード」接続ドライブとして使える。

※本製品は、「MOA-iシリーズ(i･CONNECT搭載MO)」と、「USB 2.0コンバータケーブル」のセット品です。
MOA-iシリーズは、i･CONNECT対応オプション（1394-iCNなど）と接続して、他のインターフェイスに対応したドライブとしてもお使いいただけます。

USB(Universal Serial Bus)［ユーエスビー］

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つです。接続のしやすさ、増設のしやすさなどの特徴があります。以下の2つのバージョンがあります。

【最大転送速度（理論値）】

USB（1.1）　12Mbps

USB 2.0　480Mbps

ハードウェア仕様

●MOA-i640S

インターフェイス	i･CONNECT
使用可能MOディスク	128/230※/540※/640※Mバイト ※オーバーライト対応ディスクを含む
セクタサイズ	・128/230/540MバイトのMOディスクは512バイト ・640MバイトのMOディスクは2048バイト
シークタイム(平均)	28ms
MOディスク回転数	3600rpm
データ転送速度(最大)	3.92Mバイト/Sec
バッファサイズ	512Kバイト
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20～80%（ただし結露なきこと）
電源	ACアダプタ　+5.0V,2.2A
本体サイズ	117(W) × 187(D) × 33(H)mm
質量	約830g

●USB 2.0コンバータケーブル

対応規格	i･CONNECT規格およびUSB 2.0準拠
転送方式	コントロール転送／バルク転送／インタラプト転送
転送速度(最大)	USB 2.0　480Mbps（理論値） USB（1.1）　12Mbps（理論値）
動作温度	+5℃～35℃
動作湿度	20～80%　（結露なきこと）
外形寸法	44(W)× 56(D)× 14(H)mm （コネクタおよびケーブル含まず）
ケーブル長	約100cm
質量	約80g

ユーザー登録について

ここではユーザー登録について説明します。

1 「ハードウェアシリアルNo.シール」を所定の位置にはります。

添付のハードウェアシリアルNo.シールを、ユーザー登録カード、ハードウェア保証書にはってください。

2 ユーザー登録をします。

ユーザー登録にはオンライン登録と、ハガキ登録の2通りがあります。

●オンライン登録

http://www.iodata.co.jp/regist/

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録してください。
I-O DATA ホームページにユーザー登録フォームが用意されています。
画面の表示にしたがって必要事項を記入してください。
ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードにユーザー登録番号を記入し、大切に保管してください。

●ハガキ登録

必要な事項をご記入のうえ、弊社までユーザー登録カードをご返送ください。

必要事項のご記入もれや必要なシールのはり忘れがあった場合は、ユーザー登録できません。必ずご確認ください。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(起こったタイミング、本製品や画面、メッセージなどについて)。

■オンライン

インターネット	**http://www.iodata.co.jp/support/**

■郵便

住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンター
「MOA-i640S/US2」係　宛

■電話・FAX

電話番号	金沢　076-260-3688　東京　03-3254-1095
電話受け付け時間	9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX番号	金沢　076-260-3360　東京　03-3254-9055

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/　→「サポート・ライブラリ」

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サービス窓口
「MOA-i640S/US2」　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

MOA-i640S/US2 取扱説明書
2001.Mar.16 90543-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

もっと近くへ── More Communication
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目84番地
ホ ー ム ペ ー ジ：http://www.iodata.co.jp/support/
●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●
金 沢／TEL.076-260-3688 FAX.076-260-3360
東 京／TEL.03-3254-1095 FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9:30～19:00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています